

SonicWall SonicOS 7.0.1 リリースノート

このリリースノートでは、SonicWall SonicOS 7.0.1 日本語版リリースについて説明します。

各リリースの情報は、リリース日順に時系列で掲載されています。

バージョン:

- バージョン 7.0.1-5151 - 2024 年 3 月
- バージョン 7.0.1-5145 - 2023 年 11 月
- バージョン 7.0.1-5129 - 2023 年 6 月
- バージョン 7.0.1-5119 - 2023 年 6 月
- バージョン 7.0.1-5111 - 2023 年 4 月
- バージョン 7.0.1-5100 - 2023 年 3 月
- バージョン 7.0.1-5095 - 2022 年 11 月
- バージョン 7.0.1-5083 - 2022 年 9 月
- バージョン 7.0.1-5080 - 2022 年 9 月
- バージョン 7.0.1-5072 - 2022 年 6 月
- バージョン 7.0.1-5030-R945 - 2022 年 5 月
- バージョン 7.0.1-5065 - 2022 年 4 月
- バージョン 7.0.1-5054 - 2022 年 4 月
- バージョン 7.0.1-5052 - 2022 年 4 月
- バージョン 7.0.1-5030/5037 - 2021 年 12 月 / 10 月
- バージョン 7.0.1-5026 - 2021 年 9 月
- バージョン 7.0.1-5023 - 2021 年 8 月
- バージョン 7.0.1-5019 - 2021 年 8 月
- バージョン 7.0.1 - 2021 年 7 月
- バージョン 7.0.1 - 2021 年 6 月
- バージョン 7.0.1 - 2021 年 4 月

既定のパスワードを変更する

- ① **重要:** ファイアウォールに初めてログインした時、または、既定のパスワードが変更されていない状態で以前の SonicOS バージョンからアップグレードした時に、既定の管理者パスワードを変更する必要があります。

X0 から HTTPS 管理を使用して既定のパスワードを変更するには、以下の手順に従います。:

1. ご使用のコンピュータを X0 インターフェースに接続します。(X0 ポート上は、DHCP アドレスが既定で利用できません。)
2. ブラウザに既定の IP アドレス <https://192.168.168.168> を入力します。

3. プロンプトが表示されたら、これらの既定の資格情報でログインします:

- ユーザ名: admin
- パスワード: password

パスワードの変更ダイアログが表示されます。

4. 「古いパスワード」フィールドに既定の管理者パスワードを入力します。

5. 「新しいパスワード」フィールドに新しい管理者パスワードを入力します。

① **重要:** あなたの組織のセキュリティ要件に沿ったパスワードを作成してください。英字の大文字、小文字、数字、特殊文字をそれぞれ少なくとも1文字含めたパスワードを推奨します。例えば、S0nicW@11 などです。

6. 「新しいパスワードの確認」フィールドに新しい管理者パスワードを再入力します。

7. 「パスワードの変更」をクリックします。

MGMT ポートを使用して既定のパスワードを変更するには、以下の手順に従います。:

1. ご使用のコンピュータを装置の MGMT インターフェースに接続します。

2. MGMT ポートにアクセスするには、まずご使用のコンピュータに 192.168.1.0/24 サブネット上の IP アドレス (192.168.1.20 など) を構成します。

3. ブラウザに既定の IP アドレス <https://192.168.168.168> を入力します。

4. プロンプトが表示されたら、これらの既定の資格情報でログインします:

- ユーザ名: admin
- パスワード: password

パスワードの変更ダイアログが表示されます。

5. 「古いパスワード」フィールドに既定の管理者パスワードを入力します。

6. 「新しいパスワード」フィールドに新しい管理者パスワードを入力します。

① **重要:** あなたの組織のセキュリティ要件に沿ったパスワードを作成してください。英字の大文字、小文字、数字、特殊文字をそれぞれ少なくとも1文字含めたパスワードを推奨します。例えば、S0nicW@11 などです。

7. 「新しいパスワードの確認」フィールドに新しい管理者パスワードを再入力します。

8. 「パスワードの変更」をクリックします。

バージョン 7.0.1-5151 - 2024 年 3 月

2024 年 3 月

この SonicOS 7.0.1 バージョンは、以前のリリースで見つかった問題に対する修正が含まれた、既存のプラットフォームに対するメンテナンスリリースです。

サポート対象プラットフォーム

この統合されたリリースのプラットフォーム別バージョンは、以下の通りすべて同一です。

プラットフォーム	ファームウェアバージョン
TZ シリーズ	7.0.1-5151
NSa シリーズ	7.0.1-5151
NSv シリーズ	7.0.1-5151
NSsp シリーズ	7.0.1-5151

- NSa 2700
- NSa 3700
- NSa 4700
- NSa 5700
- NSa 6700
- NSsp 10700
- NSsp 11700
- NSsp 13700
- NSsp 15700
- TZ270 / TZ270W
- TZ370 / TZ370W
- TZ470 / TZ470W
- TZ570 / TZ570W
- TZ570P
- TZ670
- NSv 270
- NSv 470
- NSv 870

SonicOSNSv の展開は、次のプラットフォームでサポートされます。

- AWS (BYOL および PAYG)
- Microsoft Azure (BYOL)
- VMware ESXi
- Microsoft Hyper-V
- Linux KVM

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-42309	SonicOS SSL VPN ウェブページ生成時における入力の不適切な中和 (「クロスサイトスクリプティング」) 脆弱性: SNWLID-2024-0005
GEN7-43727	RADIUS MS-CHAPv2 を使用してパスワードを変更すると、SSL-VPN ポータルのユーザがポータルにリダイレクトされません。

問題番号	問題の詳細
GEN7-44851	「SonicWall 自動プロビジョニング サーバ」と「クライアント」の IKE プロポーザル認証の既定値が一致しません。サーバの IKE プロポーザルが AES-256/SHA-256 だった場合、「SonicWall 自動プロビジョニング サーバ」の IKE プロポーザルの既定値が AES-256/SHA-1 でした。これからの「SonicWall 自動プロビジョニング ライアント」の IKE プロポーザル認証の既定値は、SHA1 になります。
GEN7-44949	AESGMAC を使用すると、VPN トンネルが確立できません。
GEN7-44990	IPv6 システム ログの <code>srcv6=</code> タグが文字化けで出力されます。
GEN7-45064	このビルドには、新しいメモリ最適化が含まれます。
GEN7-45556	高可用性構成で、FIPS モードが有効にできません。
GEN7-45736	「AppFlow 報告 > ユーザ」タブに重複した登録が表示されます。
GEN7-45797	SonicOS の IPSec を介した整数ベースのバッファオーバーフローの脆弱性: SNWLID-2024-0004
GEN7-46209	DDNS に <code>dyn.com</code> を構成すると、状況にエラー「ネットワークエラー」が表示されます。
GEN7-46296	CVE-2023-48795: SSH 仕様における接頭辞切断攻撃 (Terrapin 攻撃): SNWLID-2024-0002
GEN7-46559	DNS 再割り当て攻撃の防御が「DNS プロキシ」機能で利用できるようになりました。
GEN7-46938	アドレス オブジェクトを作成する際に、VPN ゾーンを選択するオプションが表示されない場合があります。
GEN7-47372	NetExtender バージョンが最新のリリース (v10.2.339) に更新されました。「ファイアウォール SSL VPN / クライアント」の設定ページで NetExtender クライアントの「自動更新」オプションを有効にすると、NetExtender クライアントは新しいバージョンを確認して、v10.2.339 に自動的に更新します。

追加の参考情報

GEN7-44370、GEN7-45066、GEN7-45462

確認されている問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-41102	ファイアウォールにインポートされたユーザに対して「パスワードの変更」が有効化されている場合でも、「パスワードの変更」ページが表示されません。
GEN7-41996	「自動的にサマータイムを調整する」設定を無効にしても現在のシステム時間が変更されません。
GEN7-42675	ポリシー モードが構成された装置で、セキュリティポリシーに一致する最高優先順位に「すべて」のユーザが選択されており、かつ「アプリ/一致/URL/ウェブ種別」のいずれも選択されていない場合、後続のセキュリティポリシーに対するユーザリダイレクトがスキップされます。

問題番号	問題の詳細
GEN7-43500	ローカル ユーザの名前を変更しても、「サーバ DPI-SSL 除外」と「サーバ DPI-SSL 包有」リストに登録が表示されたままになり、名前が変更されたユーザを選択できなくなります。
GEN7-43554	「ユーザ定義悪意のあるドメイン名リスト」と「ホワイトリスト」ページに不正なドメインを追加すると、有効なドメインを追加できなくなります。 応急: この問題は、ログアウトしてログインし直すと解決します。
GEN7-46927	WAN 負荷分散メンバの順番が変更されると、ユーザ定義の VPN を超えた LAN からのトラフィックが停止します。
GEN7-47528	SSL VPN ポータル ページから Windows 32ビット用 NetExtender をインストールすると、メッセージ「The installer is only for x64 machine (インストーラーは x64 マシン専用です)」が表示されます。 応急: sonicwall.com から NetExtender ソフトウェアを直接ダウンロードしてインストールします。

確認されている日本語版特有の問題点

このセクションでは、本リリースで確認されている日本語版特有の問題点のリストを示します。

問題番号	問題の詳細
-	「デバイス 設定 > 管理 言語」タブやコマンドライン インターフェース (CLI) などから言語を切替えると、構成設定が破損することがあります。 本リリースのファームウェアは、構成設定を引き継いだ言語の切替をサポートしていません。日本語から英語に切替えて、その後日本語に戻しても構成設定は破損した状態になるので、装置の言語を切替えないでご利用ください。 応急: 言語を切替えてしまった場合は、工場出荷時の構成で起動してから、必要な構成設定を行ってください。
-	現在使用されているファームウェアのバージョンが、本リリースのファームウェアに対して構成設定を引き継いだアップグレード、およびエクスポートした構成設定ファイルのインポートに対応している場合、工場出荷時の構成で起動してから一度も英語表示の管理ユーザ インターフェースに切替えていない状態でのみそれをサポートします。
-	「監視 AppFlow > AppFlow 報告」ページなどでエクスポートした CSV 形式の接続監視結果ファイルを Microsoft Excel で開くと、文字化けすることがあります。 Excel が UTF-8 エンコードの CSV ファイルを異なるエンコードで開くために発生します。 応急: エクスポートした CSV ファイルをテキストエディタ等で開き、BOM 付きの UTF-8 文字エンコードまたは Shift-JIS 文字エンコードで保存します。その後、更新した CSV ファイルを Excel で開きます。
-	管理ユーザ インターフェースやメッセージ、出力結果に、英語で表示される箇所があります。

バージョン 7.0.1-5145 - 2023 年 11 月

2023 年 11 月

この SonicOS 7.0.1 バージョンは、以前のリリースで見つかった問題に対する修正が含まれた、既存のプラットフォームに対するメンテナンスリリースです。

新機能

- 管理者は、SSL VPN サービスに影響することなく、広域通信網 (WAN) 上の「仮想ポータル」を無効にできます。この機能により、安全なリモート接続を中断することなく、ネットワークへのアクセスをより詳細に制御できます。主なメリットは、以下の通りです。
 - **強化されたセキュリティ:** WAN 上の「仮想ポータル」を無効にすることで、潜在的なセキュリティ侵害の攻撃対象領域を大幅に減らすことができます。外部から「仮想ポータル」にアクセスできなくなるため、ネットワーク全体のセキュリティが強化されます。
 - **中断のない SSL VPN サービス:** WAN 上で「仮想ポータル」を無効にしても SSL VPN サービスには影響しないため、ユーザはネットワークリソースへの安全なアクセスを継続できます。
- 既定の動作は、以前の SonicOS SonicOS バージョンから仮想ポータルの設定を移行します。装置の WAN ゾーン上の仮想ポータル アクセスを無効にするには、以下の手順に従います。
1. 「ネットワーク | SSL VPN > ポータル設定」に移動します。
 2. 「ポータル設定」セクションで、「LAN 以外のインターフェースで仮想オフィスを無効にする」を有効にします。
- WDS 以外の無線ブリッジモードのサポート
 - IKEv2 での AESGCM アルゴリズムの暗号化サポート

サポート対象プラットフォーム

この統合されたリリースのプラットフォーム別バージョンは、以下の通りすべて同一です。

プラットフォーム	ファームウェアバージョン
TZ シリーズ	7.0.1-5145
NSa シリーズ	7.0.1-5145
NSv シリーズ	7.0.1-5145
NSsp シリーズ	7.0.1-5145

- NSa 2700
- NSa 3700
- NSa 4700
- NSa 5700
- NSa 6700
- NSsp 10700
- NSsp 11700
- NSsp 13700
- NSsp 15700
- TZ270 / TZ270W
- TZ370 / TZ370W
- TZ470 / TZ470W
- TZ570 / TZ570W
- TZ570P
- TZ670
- NSv 270
- NSv 470
- NSv 870

SonicOSNSv の展開は、次のプラットフォームでサポートされます。

- AWS (BYOL および PAYG)
- Microsoft Azure (BYOL)
- VMware ESXi
- Microsoft Hyper-V
- Linux KVM

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-24752	「IP ヘッダー チェックサム強制を有効にする」を有効にすると、L2TP 接続ができません。IPSec 処理の失敗または不正な IP チェックサム値により、パケットが破棄されます。
GEN7-36260	WAN 負荷分散を変更すると、セグメンテーション違反により装置が再起動します。
GEN7-36305	WAN 負荷分散を有効にすると、装置の CPU 使用率が高くなります。
GEN7-36796	管理者が「 デバイス 診断 」ページで「自動的に追加された NAT ポリシーを無効にする機能を有効にする」を有効にすると、自動追加された NAT ポリシーを編集または無効にすることができなくなります。
GEN7-37233	SSO 強制に「エンドポイント セキュリティルール」を適用している場合、MacOS 用「Capture Client」を使用しているユーザのインターネット接続が失われます。
GEN7-38094	地域 IP の遮断する国の一覧がアルファベット順に並べ替えされません。
GEN7-38337	SonicWall と VLT が実行されている Dell スイッチ間で LACP を有効にすると、ネットワークにループ/フラッドが発生します。
GEN7-38389	SonicWall と VLT が実行されている Dell スイッチ間で LACP を有効にすると、ネットワークにループ/フラッドが発生します。
GEN7-38538	X0 を統合元インターフェースにすると、リンク統合グループの作成に失敗します。
GEN7-38601	ネットワーク セキュリティ管理 (NSM) による管理で「アクセス ポイントフロアプラン」機能を使用すると、エラーが表示され、装置が再起動します。
GEN7-38644	管理者がログを時間でフィルタできません。
GEN7-39035	管理インターフェースを使用して L2 リンク統合グループの統合元ポート (PortShield モードまたはトランク モード) をシャットダウンすると、トラフィックが失敗します。
GEN7-39248	特殊文字が含まれた名前で作成すると、「 デバイス > 設定 > ファームウェアと設定 」ページにバックアップが表示されなくなります。一覧にアクセスしようとすると、エラー「An error occurred but the cause could not be determined at this time (エラーが発生しましたが、現在のところ原因は特定できませんでした)」が表示されます。

問題番号	問題の詳細
GEN7-39415	DPI-SSL のバージョン選択オプションが改善されました: <ul style="list-style-type: none"> • DPI-SSL バージョンの SSL 3.0 のサポートが削除されました。 • 「診断」ページの「DPI-SSL バージョン選択」に新しいユーザ インターフェースが提供されました。 • 管理インターフェースで利用できる機能と同様の診断コマンドがコマンドライン インターフェース (CLI) に追加されました。
GEN7-39523	NetExtender、Mobile Connect、または仮想オフィスを使用する SSL VPN ユーザが、断続的に接続できなくなる場合があります。
GEN7-39636	NSsp 15700 のみ: NSsp 15700 装置に高可用性モードを構成すると、管理インターフェースが断続的に利用できなくなります。
GEN7-39654	IPS レポートとスパイウェア レポートが有効化されているにもかかわらず、「CTA (キャプチャ脅威評価) レポート」に無効と表示されます。
GEN7-39775	TZ Wireless シリーズの装置を WDS ステーションからアクセス ポイント モードに変更すると、装置を介して接続しているモバイル クライアント ユーザがインターネットにアクセスできなくなります。
GEN7-39805	ゼロ タッチのセッションがインターフェース X0 を通した接続として扱われるため、ネットワークセキュリティ管理 (NSM) を使用した X0 の構成が遮断されます。
GEN7-40407	パーティションが有効化されている場合、2 段階認証を使用して「仮想オフィス」にログインすると、ドロップダウンリストの最初のドメインへの接続には成功しますが、他のドメインへの接続は次のエラーで失敗します: 不正な名前またはパスワードです。
GEN7-40455	NSv プラットフォームで、メモリの使用率が高くなる場合があります。
GEN7-40534	セキュリティポリシーを無効にしても、状況コードに「動作中」と表示される場合があります。
GEN7-40564	CVE-2023-2650: ASN.1 オブジェクト識別子を変換する DoS の可能性
GEN7-40609	「COMMON アクセスカード」を有効にした場合、正しい管理者の資格情報でログインした際に、エラー「 クライアント証明書ログインが必要です 」が表示されます。
GEN7-40610	ユーザがスマートカードを使用した「COMMON アクセスカード」でログインすると、「 ユーザセッション 」ウィンドウと「 ダッシュボード 」にユーザが「 未知のユーザ 」として表示されます。
GEN7-40617	ウェブ管理証明書を ECDSA から RSA 種別に変更しても、装置を再起動するまでそれが反映されません。
GEN7-40829	NSsp 15700 のみ: IPFIX を有効にしても、IPFIX 統計が更新されません。
GEN7-40972	「診断」タブの読み込み中に「地域 IP」キャッシュを読み込むと、DataPlane の CPU 使用率が高くなります。
GEN7-41026	アクセス ルールのサービス フィールドの値を「すべて」にし、「 管理トラフィックを許可する 」を有効にして装置を構成すると、CPU 使用率が 100% に上昇します。
GEN7-41050	FQDN アドレス オブジェクトが定義された装置を起動すると、コア 0 の使用率が高くなります。
GEN7-41064	SSL VPN の getBookmarkList.json URL エンド ポイントに、認証後のスタックベース バッファ オーバーフローの脆弱性。

問題番号	問題の詳細
GEN7-41065	SSL VPN の sonicflow.csv と appflowsessions.csv エンド ポイントに、認証後のスタックベース バッファ オーバーフローの脆弱性。
GEN7-41068	認証後の SSL VPN ユーザ アサーション失敗による、main.cgi を介したスタックベース バッファ オーバーフローの脆弱性。
GEN7-41069	SSL VPN の getPacketReplayData.json URL エンド ポイントに、認証後のスタックベース バッファ オーバーフローの脆弱性。
GEN7-41074	SSL VPN の ssoStats-s.xml と ssoStats-s.wri エンド ポイントに、認証後のスタックベース バッファ オーバーフローの脆弱性。
GEN7-41075	SSL VPN の sonicwall.exp と prefs.exp エンド ポイントに、認証後のスタックベース バッファ オーバーフローの脆弱性。
GEN7-41076	SSL VPN の plainprefs.exp URL エンド ポイントに、認証後のスタックベース バッファ オーバーフローの脆弱性。
GEN7-41107	特殊文字 (-, +, = など) で始まるフィールドで構成された監査ログにより、メモリに関連する問題が発生します。
GEN7-41149	TZ シリーズのみ: TZ Wireless モデル シリーズで、内部無線の設定を WDS ステーションモードから切り替えると、トラフィックが失敗する場合があります。
GEN7-41231	dynHandleBuyToolbar デモ機能のソースコードに、パスワードが直接記述されていました。
GEN7-41394	イラクとシリアの国情報は DST を使用しないように調整しました。
GEN7-41433	システム破壊の可能性を防ぐために、追加のファイル整合性検証が確実に実行されるように改善しました。
GEN7-41622	パケットが特定のタグを伴った VPN を通して送信された場合、トラフィックが混雑していると DataPlane の CPU 使用率が高くなる場合があります。
GEN7-41952	SonicOS SSL VPN トンネルに、認証後の不適切な権限管理の脆弱性。
GEN7-43527	NSsp 15700 のみ: 高可用性ペアで、コア 0 の使用率が 100% になり、装置が再起動しません。
GEN7-43528	LADP 認証を有効にすると、装置が自動的に再起動する場合があります。

追加の参考情報

GEN7-28433、GEN7-34477、GEN7-37004、GEN7-37288、GEN7-37318、GEN7-37858、GEN7-37943、GEN7-37977、GEN7-38521、GEN7-38795、GEN7-39183、GEN7-39401、GEN7-39443、GEN7-39522、GEN7-39876、GEN7-39937、GEN7-39958、GEN7-40001、GEN7-40046、GEN7-40051、GEN7-40073、GEN7-40232、GEN7-40370、GEN7-40660、GEN7-40737、GEN7-40779、GEN7-40781、GEN7-40798、GEN7-40908、GEN7-41521、GEN7-41644、GEN7-41730、GEN7-42178、GEN7-42199、GEN7-42952、GEN7-43153

確認されている問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-41011	LDAP からインポートされたグループの LDAP の場所が、自動的に設定されません。
GEN7-41040	「SSO バイパス」設定からセキュリティポリシーが自動的に追加されてしまいます。ポリシーモードが構成された装置では、追加されるべきではありません。
GEN7-41102	装置にインポートされたユーザに対して「パスワードの変更」が有効化されている場合でも、パスワードの変更がユーザに要求されません。
GEN7-41340	親インターフェースが「未定義」に設定されている場合、そのサブ VLAN WAN インターフェースの接続されたルートに停止中と表示されます。
GEN7-41630	「無効」状態の IPv6 VPN ポリシーが、ポリシーを編集した後に有効になります。
GEN7-41996	「自動的にサマータイムを調整する」を無効にしても現在のシステム時間が変更されません。
GEN7-42202	アップロードされたユーザ定義のポットネットシグネチャファイルが保存されず、装置を再起動すると失われます。
GEN7-42675	ポリシーモードが構成された装置で、セキュリティポリシーに一致する最高優先順位に「すべて」のユーザが選択されており、かつ「アプリ/一致/URL/ウェブ種別」のいずれも選択されていない場合、後続のセキュリティポリシーに対するユーザリダイレクトがスキップされます。
GEN7-43049	ファームウェアをアップロードして、装置を工場出荷時の設定で起動すると、まれに管理インターフェースにネットワークエラーが表示される場合があります。。API が応答を送信し、再起動する前に HTTP 接続を閉じると、装置がまだ動作中のように見えます。
GEN7-43500	ローカルユーザの名前を変更しても、「サーバ DPI-SSL 包有」と「サーバ DPI-SSL 除外」リストには元の登録が表示されたままになります。名前が変更されたユーザを選択できません。
GEN7-43505	認証方式が「証明書」の場合、VPN を超えた DHCP に中央ゲートウェイ VPN ポリシーを追加できません。
GEN7-43554	「ユーザ定義悪意のあるドメイン名リスト」と「ホワイトリスト」ページに不正なドメインを追加した後、待機中の構成がまだ存在するため、有効なドメインを追加できません。 応急: この問題は、ログアウトしてログインし直すと解決します。

バージョン 7.0.1-5129 - 2023 年 6 月

2023 年 6 月

この SonicOS 7.0.1 (7.0.1-5129) バージョンは、以前のリリースで見つかった問題に対する修正が含まれた、現在販売されている NSsp 15700 プラットフォームに対するメンテナンスリリースです。

サポート対象プラットフォーム

- ① **重要:** このリリースは、NSsp 15700 プラットフォームのみに適用されます。
他のプラットフォームに関する最新リリースの情報については、「バージョン 7.0.1-5119 - 2023 年 6 月」を参照してください。

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-21392	ファイアウォールを通過したすべての実際のトラフィックがリアルタイム監視に表示されません。
GEN7-30560	「すべてのユーザ」グループを含むセキュリティルールを使用して LAN から WAN にアクセスしているユーザがログイン後にパスワードを変更しようとする、未確定エラーが表示されます。
GEN7-32261	トランクされた VLAN または サブ VLAN インターフェースの OSPFv3/RIPng]OSPFv3/RIPng が確立できません。
GEN7-33585	IPv6 VPN で VLAN インターフェースを使用すると、IPv6 VPN が動作しません。
GEN7-33914	40G インターフェースの OSPF インターフェース「自動コスト」の値が間違っています。
GEN7-34690	IPv6 DNS サーバを使用してドメインが解決されているにもかかわらず、「 解決されたアドレス 」が表示されません。
GEN7-35241	IPv6 WAN インターフェースが 2 つ構成されている場合に、2 つめのインターフェースを IPv6 静的モードで構成すると、次のエラーが発生します: コマンド 'dns primary <code>xxxxx::xxx:xxxx:xxxx::xxxx</code> ' が一致しません。
GEN7-36708	MGMT ポートを使用して帯域外管理を実行する際に、ビルドまたは exp ファイルの読み込みができません。帯域外管理に別のポートを使用するか、または、管理者が使用しているシステムを MGMT ポートと同一のサブネット上になるように設定してください。
GEN7-37068	「ステルスモード」が有効化されている場合、「 遮断されたウェブサイト 」に対するシステム ログとイベントログが処理されません。カウンタが 0 のままです。
GEN7-37135	LDAP サーバからの応答を待機している間に、LDAP 同期が失敗します。
GEN7-37387	高可用性環境で、既定のルートに対する LSA 追跡を伴う OSPF を構成し、「 常に既定情報発信 」を選択すると、既定の内部 OSPF ルートがアクティブファイアウォールから消えてなくなります。
GEN7-37454	「ステートフル同期」オプションを無効にすると、アクティブファイアウォールのスレーブブレードで動的ルートが削除されます。IP スプーフ確認エラーにより、パケットが破棄されます。
GEN7-37862	2 つの Syslog サーバが有効化されている場合、VPN トンネルを越えて Syslog パケットが生成されません。
GEN7-38631	ファームウェアをアップグレードした後に、断続的に高可用性リンクが確立されない場合があります。

問題番号	問題の詳細
GEN7-39016	ARP 登録のカウンタが 0 分に達しても、ARP 登録が消去されません。
GEN7-39744	ワイヤモードで、セキュリティルールが禁止/破棄に設定されていても、トラフィックが転送されます。
GEN7-39788	いくつかの条件下で、コンテンツフィルタ サービス (CFS) が格付けで禁止されたドメインに接続した後に TCP ウィンドウ更新パケットを受信しても、遮断されません。その代わりに、ポリシー・エンジンが URL と格付け情報なしでポリシーの検索処理を実行します。
GEN7-39993	動作プロファイルに「SSO バイパス」を設定したセキュリティポリシーに一致するパケットが、「パケット破棄 - ポリシー ユーザ SSO が必要」を報告します。これは偽陽性で、混乱を招く可能性があります。

追加の参考情報

GEN7-40253、GEN7-40248、GEN7-40002、GEN7-39528、GEN7-39387、GEN7-39193、GEN7-39153、GEN7-38709、GEN7-38691、GEN7-38652、GEN7-38422、GEN7-38388、GEN7-38158、GEN7-38149、GEN7-38134、GEN7-38050、GEN7-37947、GEN7-37945、GEN7-37900、GEN7-37854、GEN7-37418、GEN7-37346、GEN7-37204、GEN7-37123、GEN7-37094、GEN7-37071、GEN7-35813、GEN7-35774、GEN7-35643、GEN7-34016、GEN7-33917、GEN7-33201、GEN7-31788、GEN7-31530、GEN7-31423、GEN7-31132

確認されている問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-35781	「ゲートウェイ番号」が 3 または 4 に設定されている場合、最後のインターフェースにトンネル VPN を使用した ECMP ルートを追加すると失敗します。
GEN7-36684	管理ポートのない装置上で、MGMT ポートを使用した場合のみ (ユーザ ポリシーを必要としない) 特別な管理を許可するように仕様を変更しました。管理ポートのある装置の場合、ユーザは非管理ポートで管理サービスを許可するための明示的な管理ルールを作成する必要があります。管理者は、非管理ポート (X0 や X1 など) を使用した管理サービスを許可するための許可ルールを作成し、それぞれのインターフェースで関連する管理サービスを有効にしなければなりません。
GEN7-40273	「この SA を経由しての HTTPS/SSH 管理」が VPN ポリシーで無効化されている場合でも、サイト間 VPN ポリシーを通して HTTPS/SSH を使用すると、管理が許可されます。
GEN7-40300	SSLVPN クライアントのネットワークアドレス IPv4 プールを変更すると、変更が成功しましたと表示されているにもかかわらず、変更が断続的に完了しない場合があります。
GEN7-40369	高可用性構成で、有効なローカル証明書ファイアウォールから削除すると、「LDAP 監視」構成ページの「適用」ボタンをクリックした時にエラーが表示される場合があります。LDAP ベース ペイロードのローカル TLS 証明書から証明書の関連付けが削除されません。

バージョン 7.0.1-5119 - 2023 年 6 月

2023 年 6 月

この SonicOS 7.0.1 バージョンは、以前のリリースで見つかった問題に対する修正が含まれた、既存のプラットフォームに対するメンテナンスリリースです。

① **重要:** NSsp 15700 プラットフォームの最新リリースの情報については、「[バージョン 7.0.1-5129 - 2023 年 6 月](#)」を参照してください。

サポート対象プラットフォーム

この統合されたリリースのプラットフォーム別バージョンは、以下の通りすべて同一です。

プラットフォーム	ファームウェアバージョン
TZ シリーズ	7.0.1-5119
NSa シリーズ	7.0.1-5119
NSv シリーズ	7.0.1-5119
NSsp シリーズ	7.0.1-5119

- | | | | |
|--|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">• NSa 2700• NSa 3700• NSa 4700• NSa 5700• NSa 6700 | <ul style="list-style-type: none">• NSsp 10700• NSsp 11700• NSsp 13700 | <ul style="list-style-type: none">• TZ270 / TZ270W• TZ370 / TZ370W• TZ470 / TZ470W• TZ570 / TZ570W• TZ570P• TZ670 | <ul style="list-style-type: none">• NSv 270• NSv 470• NSv 870 |
|--|--|--|---|

SonicOS NSv の展開は、次のプラットフォームでサポートされます。

- AWS (BYOL および PAYG)
- Microsoft Azure (BYOL)
- VMware ESXi
- Microsoft Hyper-V
- Linux KVM

新機能

このリリースには次の新機能が含まれています。

- イベント ログ報告に、IPFIX がサポートされました。
- ファイアウォールの情報が、ゼロタッチ ハートビート応答メッセージを通して ネットワーク セキュリティ管理 (NSM) に送信されるようになりました。

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-28162	ファイアウォールに接続されたアクセス ポイントが正常に完了しません。
GEN7-29806	すべてのインターネットトラフィックが、番号なしトンネル インターフェースを使用するように定義された VPN を通してルーティングされている場合、「ネットワーク設定の確認」テストが失敗します。
GEN7-35191	ファイアウォールが、ネットワーク セキュリティ管理 (NSM) への SFR ファイルの送信に失敗します。
GEN7-35328	読み取り専用管理者としてファイアウォールにログインした際に、既存の管理者を先制できないため、「管理を開始しない」または「非構成」のいずれかを選択するための警告が表示されます。読み取り権限を所持する管理者は、非構成モードでの管理が自動的に開始されるべきなので、これは混乱をもたらします。
GEN7-36529	大量の FQDN アドレス オブジェクトが存在すると、CPU 使用率が高くなります。その影響の一例として、ULA ページがユーザ認証のための応答に失敗します。
GEN7-36720	NetExtender のユーザ ワンタイム パスワード (OTP) ウィンドウで、電子メールで受け取った OTP を送信すると、ファイアウォールが自動的に再起動する場合があります。
GEN7-37020	ダッシュボードに表示される「観測された脅威」のデータが、AppFlow 報告のデータと一致しません。
GEN7-37021	対応する L2 スwitチング LAG 統合ポートが利用不可になった際、インターフェースの前面パネル インジケータにそれが無動作の状態であることが示されません。
GEN7-37091	システムの時間と帯域幅管理の時間が相違している場合、管理インターフェース表示にタイムラインのずれが生じるため、「帯域幅管理監視」ページが空白になります。
GEN7-37172	「ゲスト サービス > ユーザ定義ページ」の認証に、ユーザ定義のテキストや URL が表示されません。
GEN7-37403	数字で始まる LDAP サーバ名をファイアウォールが受け付けません。
GEN7-37456	MAC フィルタとオプションが期待通りに動作しません。例えば、MAC フィルタが無効化されている場合、クライアントをユーザ定義の許可グループに追加できません。既存のアドレス オブジェクトの名前が変更された場合、「追加」アイコンをクリックすると、同一の MAC アドレスが新しい登録としてグループに追加されます。
GEN7-37564	DPI-SSL を有効にしたファイアウォールが、サーバ Hello とサーバ証明書パケットをクライアントに送信しません。ウェブサイトにアクセスすると、タイムアウトになります。
GEN7-37668	「ネットワーク > インターフェース」ページで「ゾーン」フィールドを展開すると、縮尺が動作しません。特に長い名前のサブインターフェイスで、フィールドがすべて移動しません。
GEN7-37693	現在のファイアウォールのシステム ログに「IPFIX 経由でイベントを報告する」が存在しません。過去のデバイスでは、このデータが利用できました。
GEN7-37763	キャプチャ ATP の「判定されるまで遮断する」が、いくつかのファイル ダウンロードを遮断しません。HTTP を通して gzip ファイルとして転送されたキャプチャ ATP 対象ファイルのサポートが最近追加されました。

問題番号	問題の詳細
GEN7-37994	NSv ファイアウォールを登録すると、システムは登録成功を報告しますが、ファイアウォールのライセンスが更新されません。
GEN7-38129	健全性確認電子メール本文の不正な確認によって、「詳細」をクリックしても「ログ電子メールの詳細設定」ページが動作しません。
GEN7-38156	IPv6 で WAN IP への SSL-VPN 接続を使用したファイアウォールの管理インターフェース X0 管理 IP に管理者がアクセスできません。
GEN7-38194	高可用性用の仮想 MAC を無効にすると、ファイアウォール自身によって生成された ARP 要求をファイアウォールが破棄します。ファイアウォールを再起動するまで、WAN インターフェースを使用した装置の管理ができなくなり、LAN から WAN へのトラフィックが失敗します。
GEN7-38265	SSL-VPN の HTML5 RDP を使用して接続すると、音声で使用できません。
GEN7-38594	ログ モジュールと IPFIX の競合により、ファイアウォールが再起動します。
GEN7-38663	ユーザ定義ヘッダー値のサイズ制限が、512 文字に調整されました。
GEN7-38743	SSO 認証に TSA エージェントを使用すると、AD グループのコンテンツフィルタ サービス (CFS) ポリシーが動作しません。
GEN7-39015	NetExtender のユーザ ワンタイム パスワード (OTP) ウィンドウで、電子メールで受け取った OTP を送信すると、ファイアウォールが自動的に再起動する場合があります。
GEN7-39024	ビルトインの中間証明書 (DigiCert SHA2 Secure Server CA) が失効しているため、DPI-SSL を使用すると警告が表示されます。
GEN7-39347	MGMT インターフェースを使用して読み取り専用管理者でログインすると、警告が表示されます。
GEN7-39385	ChangeIP API の変更により、DDNS プロファイルに「changeip.com」を構成すると、「ネットワークエラー」警告が表示されます。
GEN7-39406	「イベント/システム ログ」設定の「IPFIX イベント毎」操作状況を有効化/無効化できません。
GEN7-39469	管理者グループに所属している LDAP ユーザがファイアウォールにログインしようとする時、ファイアウォールが再起動する場合があります。

追加の参考情報

参考として、このリリースで追加で修正された問題点は以下の通りです。

GEN7-39139、GEN7-38246、GEN7-38151、GEN7-37934、GEN7-37838、GEN7-37671、GEN7-37601、GEN7-37563、GEN7-37339、GEN7-37097、GEN7-37066、GEN7-36237、GEN7-34702、GEN7-32615

確認されている問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-36178	FTP サーバの応答が 2 秒よりも多くかかった場合、FTP 自動化が失敗します。

問題番号	問題の詳細
GEN7-36194	2つのVPNトンネル インターフェースで、同じ16文字で名前が開始している場合、両方のインターフェースで「高度なルーティング」のサポートが有効にできません。
GEN7-37226	管理インターフェースで、10G インターフェースと1G インターフェースをL2 静的LAGグループに設定できてしまいます。この構成設定は許可されるべきではありません。
GEN7-37508	WAN から「TrustZone セキュア ワイヤモード」インターフェースに対して構成されている構成をインポートすると、トラフィックが遮断されません。それ自身によって作成された同じ構成は、期待通りに動作します。
GEN7-39850	ゲートウェイ用のIPv6ポリシー基準のルートに6to4自動トンネルインターフェースを選択すると、警告メッセージ「ゲートウェイは既定でなければなりません」が表示されません。
GEN7-40352	「コンテンツフィルタプロファイルオブジェクト」を「29. 検索エンジンとポータル サイト」の遮断を選択して追加すると、エラー「コマンド 'category "1. 暴力/憎悪/人種差別" block' が一致しません」が表示されます。
GEN7-40390	NSv L3 高可用性構成のX0 IP アドレスを変更すると、プライマリがセカンダリとの接続を失います。接続を復旧するには、ファイアウォールを再起動する必要があります。
GEN7-40520	ファイアウォールのファームウェアをアップグレードした後、ファイアウォールがネットワークセキュリティ管理(NSM)に同期できないと報告します。
GEN7-40554	シングル サインオン ポリシーが正しく設定されていない場合、NSa 5600 から NSa 6700 に設定情報をインポートすることに失敗します。

バージョン 7.0.1-5111 - 2023 年 4 月

2023 年 4 月

この SonicOS 7.0.1 バージョンは、以前のリリースで見つかった問題に対する修正が含まれた、既存のプラットフォームに対するメンテナンスリリースです。

- ① **重要:** NSsp 15700 装置に関する最新リリースの情報については、「[バージョン 7.0.1-5100 - 2023 年 3 月](#)」を参照してください。

サポート対象プラットフォーム

この統合されたリリースのプラットフォーム別バージョンは、以下の通りすべて同一です。

プラットフォーム	ファームウェア バージョン
TZ シリーズ	7.0.1-5111
NSa シリーズ	7.0.1-5111
NSv シリーズ	7.0.1-5111
NSsp シリーズ	7.0.1-5111

- NSa 2700
- NSa 3700
- NSa 4700
- NSa 5700
- NSa 6700
- NSsp 10700
- NSsp 11700
- NSsp 13700
- TZ270 / TZ270W
- TZ370 / TZ370W
- TZ470 / TZ470W
- TZ570 / TZ570W
- TZ570P
- TZ670
- NSv 270
- NSv 470
- NSv 870

SonicOS NSv の展開は、次のプラットフォームでサポートされます。

- AWS (BYOL および PAYG)
- Microsoft Azure (BYOL)
- VMware ESXi
- Microsoft Hyper-V
- Linux KVM

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-29243	PortShield インターフェースが存在し、インターフェースに関連するオブジェクト識別子のクエリを実行すると、SNMP クエリが完了するまでに長時間かかります。
GEN7-31345	Azure の NSv インスタンス背後にある LAN デバイスにファイルを複製すると、VPN を超えた SMB ファイル転送の速度が大幅に低下します。
GEN7-32492	番号なしトンネル インターフェースの OSPF MTU に、常に正しいとは限らない固定値 1446 が設定されます。
GEN7-32624	デバイスが再起動した後に、PPPoE 接続を使用した ISP から WAN IP を取得できない場合があります。
GEN7-33153	装置が工場出荷時の設定で起動された場合、または、既定の管理者パスワードが「password」から変更されていない場合に、管理者は管理者パスワードを変更する必要があります。
GEN7-33218	ゲストユーザがキャプティブ ポータルの認証ページにリダイレクトされません。
GEN7-33655	ユーザ認証方式が RADIUS に設定されている場合、読み取り専用管理者グループがユーザのグループに所属していたとしても、ユーザが Global VPN Client を使用して管理ユーザ インターフェースにログインすると、完全な管理者としてログインできてしまいます。
GEN7-34401	SD-WAN 構成で、IPSec VPN を超えて IP ヘルパーを介した DHCP が動作しません。
GEN7-34875	NSa 3700 のみ: 運用から数ヶ月後に装置がトラフィックの通過を停止し、LAN インターフェースからアクセスできなくなります。
GEN7-35282	アクセス ルールに帯域幅管理が有効化されており、TCP の通知ウィンドウの大きさが十分ではない場合、ダウンロード速度が期待よりも遅くなります。
GEN7-35355	「時間ベースのワンタイム パスワード」認証を使用すると、「ドメイン¥ユーザ名」形式の LDAP ユーザが認証されません。
GEN7-35356	NSa 2700 のみ: ルーティングと VPN モジュール間がデッドロック状態になった結果、しばらくアクティブになった後に、装置が到達不能になります。

問題番号	問題の詳細
GEN7-35478	システム ログの「Syslog Website Accessed (Syslog ウェブサイトにアクセス)」メッセージに対して誤った「fw_action (ファイアウォール動作)」が表示されます。
GEN7-35530	高可用性環境を構成する際に、プライマリとセカンダリ デバイスの両方が「アクティブ」になり、同期またはフェールオーバーするためのピア ファイアウォールが検出できなくなります。
GEN7-35651	診断ページの「地域 IP」に、遮断された国の IP アドレスから送信された TCP ハンドシェイクを管理者が遮断するためのオプションが追加されました。同期されたパケットが LAN 地域 IP に転送されないため、遮断ページが表示されなくなります。このオプションが有効化されていない場合の既定の動作は、遮断ページを表示するために TCP ハンドシェイクが接続を確立することを必要とします。
GEN7-35761	管理ユーザ インターフェイスで、記憶装置の LED はオフとして表示されていますが、デバイス上のライトは点灯しています。
GEN7-35947	<i>NSa 4700, NSa 5700, NSa 6700, NSsp 10700, NSsp 11700 および NSsp 13700 モデルのみ</i> : 管理者がセーフ モード ユーザ インターフェイスとセーフ モード コマンドライン インターフェイスの両方に同時にログインし、ファームウェアをアップロードして現在の構成または工場出荷時の構成で装置を再起動すると、「Installed Firmware (インストールされたファームウェア)」というメッセージが表示された後に装置の反応がなくなります。
GEN7-36244	管理インターフェイスの前面パネル表示に、10G インターフェイス (X29 ~ X33) が TwinAX ケーブルが接続されており利用可能として表示され、管理者としてインターフェイスをシャットダウンします。
GEN7-36461	送信元ゾーンがユーザ定義の DMZ で、送信先ゾーンが VPN であるアクセス ルールを複数削除した場合、ファイアウォールが再起動する場合があります。
GEN7-36535	DPI-SSL サーバを使用している場合、中間証明書が送信されません。
GEN7-36602	SSO 構成のユーザ名属性形式が「その他」に設定されている場合、管理者が RADIUS プロキシ転送を無効にできません。
GEN7-36610	SSID 抑制と MAC フィルタの両方が有効化されている場合、WiFi に接続できません。
GEN7-36631	高可用性構成で、ネットワーク セキュリティ管理 上のファイアウォール用「フロー報告」において、セカンダリ デバイスがプライマリのシリアル番号ではなく、セカンダリのシリアル番号でフロー ログを送信します。
GEN7-36703	「セキュリティ ヘッダー」がサーバ用に追加されました。
GEN7-36790	<i>NSa 4700, NSa 5700, NSa 6700, NSsp 10700, NSsp 11700 および NSsp 13700 モデルのみ</i> : セーフ モード ユーザ インターフェイスを使用した装置のアップグレードが成功しない問題が断続的に発生します。
GEN7-36919	ウィザードを使用して NAT ポリシーを作成する際に、「サービス グループ」が既定のすべてのサービスグループではなく、「すべて」という明示的な名前のサービスに対して作成されます。
GEN7-36965	パスワードに「#」などの特殊文字が含まれる場合、Global VPN Client の RCF インポートが失敗します。
GEN7-37018	管理権限のない LDAP ユーザが LAN からログインを試みると、「十分な権限がありません」などのより詳細な理由のないエラー メッセージ「不明なエラー」が表示されます。
GEN7-37044	過剰な MFA 試行の不適切な制限

問題番号	問題の詳細
GEN7-37095	TZ 270、TZ 370、および、TZ 470 モデルのみ:「ステートフル同期を有効にする」オプションが管理インターフェースの高可用性に表示されません。このオプションが以前のバージョンで有効にされていた場合、それが表示されていなくても設定は継続して機能します。
GEN7-37134	いくつかの条件下で、「コンテンツフィルタ サービス (CFS)」の DNS 応答処理と要求時間がキャッシュ タイマーの処理内で衝突を引き起こし、その結果デバイスが再起動します。
GEN7-37186	CASS が有効の場合、「リアルタイム遮断リスト (RBL)」フィルタが「RBL フィルタ」設定を隠蔽しません。
GEN7-37221	NAT ポリシー リストのソートが期待通り動作しません。
GEN7-37274	「IKEv2 Cookie 通知を送信する」設定が正しく機能せず、その結果 IKEv2 VPN の確立に失敗します。
GEN7-37417	ドメイン形式を伴うユーザ アカウントを削除すると、次のエラーが表示されます: ネットワーク オブジェクトがありません。
GEN7-37480	「SSL VPN タイムベースのワンタイム パスワード (TOTP)」認証をバインドする際に、RADIUS ユーザの QR コードが表示されません。
GEN7-37783	サイズの大きい証明書を使用すると、パケットに断片化を含むことを DF フラグが禁止するため、デバイスがサードパーティ証明書 VPN トンネルを使用する IKE とネゴシエートできません。その結果、ピア ゲートウェイにパケットが到達できなくなります。
GEN7-38111	SonicOS スタックベースのバッファ オーバーフロー脆弱性。詳細については、「CVE-2023-0656」を参照してください。
GEN7-38501	SonicOS 7.0.1-5108 にアップグレード後、ウォッチドッグ設定を有効にしたファイアウォールが数分ごとに再起動します。

追加の参考情報

参考として、このリリースで追加で修正された問題点は以下の通りです。

GEN7-26565、GEN7-31774、GEN7-32249、GEN7-32373、GEN7-33318、GEN7-33434、GEN7-33890、GEN7-34069、GEN7-34418、GEN7-35180、GEN7-35494、GEN7-35518、GEN7-35647、GEN7-35831、GEN7-36030、GEN7-36179、GEN7-36191、GEN7-36192、GEN7-36321、GEN7-36332、GEN7-36541、GEN7-36642、GEN7-36648、GEN7-36826、GEN7-36852、GEN7-36908、GEN7-37043、GEN7-37142、GEN7-37316、GEN7-37336、GEN7-37600、GEN7-37794、GEN7-37818、GEN7-37835、GEN7-37976、GEN7-38196、GEN7-38549、GEN7-38551

確認されている問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-35241	IPv6 WAN インターフェースが 2 つ構成されている場合、2 つめのインターフェースを IPv6 静的モードに構成するとエラー「コマンド 'dns primary xxxxx::xxx:xxxx:xxxx::xxxx' が一致しません」が表示されます。

問題番号	問題の詳細
GEN7-35248	インターフェースの DHCPv6 接頭辞委任を削除すると、他のインターフェースの接頭辞委任構成が消去されます。
GEN7-36178	FTP サーバの応答が 2 秒以上かかった場合、FTP 自動化が失敗します。
GEN7-36194	2 つの VPN トンネル インターフェースで、同じ 16 文字で名前が開始している場合、両方のインターフェースで「高度なルーティング」のサポートが有効にできません。
GEN7-36620	<i>NSa 4700、NSa 5700、NSa 6700、NSsp 10700、NSsp 11700 および NSsp 13700 モデルのみ</i> : ステートフル フェールオーバーを使用した高可用性を設定した後に、制御インターフェースとデータ インターフェースを変更せずにステートフル フェールオーバーを無効化して再度有効化すると、セカンダリ装置が「選定 (Election)」の状態のままになり、プライマリ装置へのアクセスができなくなります。 応急 : この状態は、15 分経過するか、装置の電源を入れ直すと回復します。
GEN7-37226	構成が有効ではないにもかかわらず、ユーザ インターフェースで 10G インターフェースと 1G インターフェースを L2 静的 LAG グループに追加できてしまいます。
GEN7-37326	「WAN GroupVPN」設定を編集して、すぐに「WAN GroupVPN」を有効化または無効化すると、いくつかの構成設定が失われます。
GEN7-37501	無線クライアントの MAC を含む「MAC フィルタの拒否」リストを「MAC なしアドレスグループ」に変更した後や、「MAC フィルタの拒否」リストを無効にした後でも、無線クライアントが遮断されたままになります。
GEN7-37508	WAN から「TrustZone セキュア ワイヤ モード」インターフェースに対して構成されている構成をインポートすると、トラフィックが遮断されません。
GEN7-37511	ゲートウェイを構成して、6to4AutoTunnel を使用したポリシー基準のルートを追加すると、次のエラーが表示されます: ゲートウェイは既定でなければなりません。

バージョン 7.0.1-5100 - 2023 年 3 月

2023 年 3 月

この SonicOS 7.0.1 (7.0.1-5100) バージョンは、以前のリリースで見つかった問題に対する修正が含まれた、現在販売されている NSsp 15700 プラットフォームに対するメンテナンス リリースです。

サポート対象プラットフォーム

- ① **重要**: このリリースは、NSsp 15700 プラットフォームのみに適用されます。
他のプラットフォームに関する最新リリースの情報については、「[バージョン 7.0.1-5111 - 2023 年 4 月](#)」を参照してください。

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-28170	AppFlow 報告のゲートウェイ アンチウイルス、アンチスパイウェア、侵入防御、および、アプリケーションに、誤った脅威数が表示されます。
GEN7-31592	「インターフェース」が表示されている既存のブラウザ タブ上を右クリックして新しいタブを開き、「複製」をクリックすると、エラー「Invalid authentication (不正な認証): SN and EPAID do not match (SN と EPAID が一致しません)」が表示されます。
GEN7-32232	ポリシー モードではスタックからの IKE パケットが許可されないため、VPNトンネル インターフェースが IKE 応答パケットを破棄して周期的に停止します。
GEN7-32518	TFTP を使用すると転送速度が遅くなる場合があります。
GEN7-32882	トンネル VPN がデバイスのスレーブ ブレード上で確立され、管理トラフィックが使用された際に、ESP パケットがリモートファイアウォールによってチェックサム エラーで破棄されて、IPSec VPN を超えたウェブトラフィックが遅くなる場合があります。
GEN7-33499	登録後にオブジェクトを初めて作成した際に、「アプリグループ」のインデックスが正しく設定されず、アプリケーション セキュリティ ポリシーが正しく機能しません。
GEN7-33612	アカウント セッション タイムアウトが失効した後でも、ゲスト アカウントがインターネットにアクセスできてしまう場合があります。
GEN7-33643	ローカル ユーザの管理権限を編集する際に、「ローカル ユーザ」ページに更新が表示されません。
GEN7-33748	高可用性構成で仮想 MAC が有効化されている場合、プライマリからバックアップに移行する際にスタンバイ装置が共有 IP を使用して ARP ブロードキャストを生成します。
GEN7-33848	ファイアウォールをトラバースしている場合、TFTP のトラフィックが遅くなる場合があります。読み取り要求転送ブレード以外のブレードでオプションの ACK メッセージを受信した場合、それがファイアウォールによって破棄されます。
GEN7-34183	高可用性環境で、直接接続されているインターフェースに対する既定のルートがセカンダリ デバイスに同期されません。
GEN7-34397	SNMP トラフィックに対するマルチブレードトラフィック処理に誤りがあるため、エラー「NAT ポリシーによる一意の再割り当てポートの生成に失敗しました」を伴って SNMP パケットが破棄されます。
GEN7-34773	DPI-SSL が強制されない場合が断続的にあります。
GEN7-34774	動作プロファイル オブジェクトの「認証されていないユーザをログインにリダイレクトしない」設定が期待通りに動作しません。未認証ユーザがユーザ固有のポリシーからバイパスされません。
GEN7-35294	認証されたユーザを遮断する「ウェブサイト種別に対するセキュリティポリシーの遮断ページ」が、優先度の高い「認証されたユーザグループに対するセキュリティポリシー」とは異なる「セキュリティポリシー」を表示します。
GEN7-35491	ゾーン基準のシングル サインオン (SSO) が「強制」に設定されている場合、拒否されたウェブサイトファイアウォールが SSO を一貫して開始しない場合があります。

問題番号	問題の詳細
GEN7-35786	NAT ポリシーを「名前」、「作成日」、「更新日」でソートすると、項目のソート順が誤っています。
GEN7-35966	ポリシーによってシングル サインオン (SSO) が必要だと検知される前は、SSO 強制が有効でも SSO が起動しません。
GEN7-36684	管理ポートのない装置上で、MGMT ポートを使用した場合のみ (ユーザ ポリシーを必要としない) 特別な管理を許可するように仕様を変更しました。管理ポートのある装置の場合、ユーザは非管理ポートで管理サービスを許可するための明示的な管理ルールを作成する必要があります。管理者は、非管理ポート (X0 や X1 など) を使用した管理サービスを許可するための許可ルールを作成し、それぞれのインターフェースで関連する管理サービスを有効にしなければなりません。
GEN7-36980	番号ありトンネル インターフェースでパケットが 1472 以上の場合、リモートファイアウォールが不正なチェックサムを受信するため、ICMP トラフィックが失敗します。
GEN7-37018	管理権限のない LDAP ユーザが LAN からログインを試みると、「十分な権限がありません」などのより詳細な理由のないエラー メッセージ「不明なエラー」が表示されます。
GEN7-37069	セキュリティポリシーを CSV ファイルにエクスポートできません。
GEN7-37070	NAT ポリシーを「ヒット数」とその他の新しい列でソートすると、期待通り機能しません。
GEN7-37134	いくつかの条件下で、「コンテンツフィルタ サービス (CFS)」の DNS 応答処理と要求タイムアウトがキャッシュタイマーの処理内で衝突を引き起こし、その結果装置が再起動します。
GEN7-37633	RADIUS 認証に加えて 2 段階認証を使用しているユーザの SSL-VPN 接続が失敗します。
GEN7-38154	SonicOS スタックベースのバッファ オーバーフロー脆弱性。詳細については、「CVE-2023-0656」を参照してください。

追加の参考情報

参考として、このリリースで追加で修正された問題点は以下の通りです。

GEN7-24931、GEN7-27414、GEN7-28768、GEN7-29045、GEN7-29907、GEN7-31205、GEN7-31255、GEN7-31307、GEN7-31354、GEN7-31779、GEN7-32451、GEN7-32452、GEN7-32577、GEN7-33185、GEN7-33349、GEN7-33505、GEN7-33628、GEN7-33637、GEN7-33697、GEN7-33878、GEN7-34011、GEN7-34168、GEN7-34186、GEN7-34209、GEN7-34263、GEN7-34488、GEN7-34824、GEN7-34842、GEN7-34884、GEN7-34967、GEN7-35037、GEN7-35162、GEN7-35174、GEN7-35499、GEN7-35565、GEN7-35609、GEN7-35621、GEN7-35646、GEN7-35648、GEN7-35801、GEN7-35826、GEN7-35967

確認されている問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-31899	「DOS ポリシー」ページの構成が編集できません。

問題番号	問題の詳細
GEN7-32261	トランクされた VLAN または サブ VLAN インターフェースの OSPFv3/RIPng]OSPFv3/RIPng が確立できません。
GEN7-34690	IPv6 DNS サーバを使用すると、ドメインが解決した際に「解決されたアドレス」が表示されません。
GEN7-35781	「ゲートウェイ番号」が 3 または 4 の場合、最後のインターフェースにトンネル VPN を使用した ECMP ルートを追加すると失敗します。
GEN7-36708	MGMT ポートを使用して帯域外管理を実行する際に、ビルドの読み込みとファイルのエクスポートができません。 応急: 帯域外管理に別のポートを使用するか、または、使用しているシステムを MGMT ポートと同一のサブネット上になるように設定してください。
GEN7-37532	高可用性構成のアクティブ装置で、プライマリ装置とセカンダリ装置に同じ MGMT IP が表示されます。

バージョン 7.0.1-5095 - 2022 年 11 月

2022 年 11 月

この SonicOS 7.0.1 バージョンは、以前のリリースで見つかった問題に対する修正が含まれた、既存のプラットフォームに対するメンテナンスリリースです。

重要

次のファイアウォール用の SonicOS 7.0.1-5080 より、ユーザは最初のログイン時に既存のパスワードを変更する必要があります: NSa 4700、NSa 5700、NSa 6700、NSsp 10700、NSsp 11700 および NSsp 13700。

サポート対象プラットフォーム

この統合されたリリースのプラットフォーム別バージョンは、以下の通りすべて同一です。

プラットフォーム	ファームウェアバージョン
TZ シリーズ	7.0.1-5095
NSa シリーズ	7.0.1-5095
NSv シリーズ	7.0.1-5095
NSsp シリーズ	7.0.1-5095

- NSa 2700
- NSa 3700
- NSa 4700
- NSa 5700
- NSa 6700
- NSsp 10700
- NSsp 11700
- NSsp 13700
- TZ270 / TZ270W
- TZ370 / TZ370W
- TZ470 / TZ470W
- TZ570 / TZ570W
- TZ570P
- TZ670
- NSv 270
- NSv 470
- NSv 870

SonicOS NSv の展開は、次のプラットフォームでサポートされます。

- AWS (BYOL および PAYG)
- Microsoft Azure (BYOL)
- VMware ESXi
- Microsoft Hyper-V
- Linux KVM

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-26093	SSL VPN を有効にする前に「 DPI およびステートフル ファイアウォール セキュリティ 」が適用された場合、SSL VPN が動作しません。
GEN7-31044	PPPoE 接続が切断された場合、ファイアウォールが再起動されるまで PPPoE 接続が接続されません。
GEN7-31454	Capture Client SSO による認証で、クライアントが SonicWall 認証サーバに到達できない場合、ファイアウォール探索と SSO 失敗によってユーザがインターネットから切断されます。
GEN7-32128	管理者の資格情報でファイアウォールにログインしようとすると、エラー「 ユーザ ログイン情報の初期化に失敗 」が断続的に表示されます。
GEN7-32179	ユーザ定義ゲストプロフィールを使用したゲスト アカウントが、その設定を継承しません。
GEN7-32273	「トランスペアレント」または「L2 ブリッジ」モードで X0 と X1 をペアにした場合、誤ったインターフェースにクエリが転送されるため、ファイアウォール診断が DNS 名を解決できません。
GEN7-32426	Syslog サーバ名にハイフン (-) を含む FQDN が使用できません。
GEN7-32523	ポリシー シーケンスの優先順位により、1 対 1 ループバック NAT ポリシーが期待通りに動作しません。
GEN7-32542	NetExtender または Mobile Connect SSL VPN を使用して RDP サーバに接続し、サーバからブラウザを起動すると、SSL VPN セッションが切断されます。
GEN7-32612	「 CFS 既定 プロファイル > ユーザ定義ヘッダー 」フィールドで、1 つの「 ドメイン鍵ペア 」に 3 個以上の値を追加すると、メッセージ「 未定義のエラーです 」が表示されます。
GEN7-32827	以前の SonicOS バージョンからアップグレードする際、ファームウェアのファームウェアをアップグレードする前に、ユーザは管理ユーザ インターフェースでポート冗長化を無効にしなければなりません。

問題番号	問題の詳細
GEN7-32858	起動時にインターフェースの電源が入る際、ポートの選択が誤ってされた場合、標準 LCAP の問題が発生します。
GEN7-32875	「RADIUS アカウント」を使用する環境で、RADIUS アカウント要求を無応答の RADIUS アカウント サーバに対して転送するようにファイアウォールが構成されている場合、CPU 使用率が高くなり性能が低下します。
GEN7-32876	高可用性環境でフェールオーバーすると、同期によって NAT とアクセス ルールが以前の設定に戻ってしまう場合があります。
GEN7-33142	「ログ自動化健全性確認」電子メールで、件名の末尾の文字がありません。
GEN7-33156	SSL VPN 接続がサポートされる接続数の上限に達する前に枯渇する場合があります。
GEN7-33391	特定の状況下で、10G インターフェースに対する LACP メンバポート統合のグループが 90 秒後に解除される場合があります。
GEN7-33533	高可用性環境で、古い VPN オプションが有効化されているためにピアがハートビートを受信できない場合、頻繁にフェールオーバーします。
GEN7-33629	最大 100 台のデバイスしか VPN を超えた DHCP から IP アドレスを受け取れません。
GEN7-33631	番号付けされたトンネル インターフェースのパケットスケジューラが、SQL クエリなどのパケットを正しく処理しないために順不同となり、VPN のスループットが遅くなります。
GEN7-33721	ファイアウォールが再起動した後、断続的に 10G リンクがアップになりません。
GEN7-33847	アクセス ルールで「帯域幅管理」を有効にすると、ダウンロード速度が極端に遅くなります。
GEN7-33857	VPN IP プールの利用可能な IP アドレスがすべて割り当てられてしまうため、GVC VPN を経由した Avaya 電話の接続が破棄される場合があります。未使用の IP アドレスが解放されないため、接続に必要な IP アドレスを電話に割り当てることができません。
GEN7-33884	「DHCP スコープ詳細設定」で、「オプション番号」が 199 (DNS ドメイン検索リストより) を使用した「DHCP 標準オプション」オブジェクトの設定の「オプション値」に複数の DNS 接尾辞を追加できません。
GEN7-33915	以前の次世代ファイアウォールから移行された設定に、重複した UUID 値を持つ NAT ポリシーが存在する場合があります。NAT ポリシーを拡張すると、ファイアウォールが誤った情報を表示します。
GEN7-33947	ドメイン ユーザがファイアウォールにログインする際に、そのドメインの簡易ユーザ名と同じ名前前のローカルの非ドメインユーザ オブジェクトが存在する場合、2 段階認証が動作しない場合があります。
GEN7-33981	「ネットワーク > IPSec VPN > ルールと設定」ページの「設定」タブで VPN を無効にしてから再度有効にすると、すべての VPN ポリシーが無効として表示されます。
GEN7-34104	コンテンツフィルタ サービス (CFS) と DPI-SSL が有効化されている場合、プロキシを有効にしたクライアントでウェブサイトアクセスしようとする、「パスワード」と「確認」の動作が表示されません。
GEN7-34176	「L3 フラッド防御」が「常に WAN 接続をプロキシする」に設定されている場合、「仮想オフィス」ページが表示されません。
GEN7-34202	「exit」という名前のアドレス グループが作成されている場合、管理インターフェースのページの表示に失敗します。

問題番号	問題の詳細
GEN7-34270	API PUT 本文と GET 応答内の FTP ディレクトリ名が符号化されて復号化されると、FTP ログ自動化が失敗します。
GEN7-34478	VPN 名にタブ文字が含まれている構成をインポートして VPN 設定を開くと、エラー「エラーが発生しました。現在のところ原因は不明です。」が表示されます。
GEN7-34699	移行された設定の「ゾーン」の名前の末尾にタブ文字が含まれていると、リアルタイムグラフにデータが表示されません。
GEN7-34703	「ホーム」>「ダッシュボード」>「システム」>「デバイス」ページで、冗長化された X1 ポートの状況が「オフライン」として表示されます。
GEN7-34852	現在の設定を使用して SonicOS 7.0.1-5080 にアップグレードする際に、メッセージ「Boot up from FACTORY DEFAULT! (工場出荷状態で起動)」がコンソールに表示されます。ファイアウォールは正しく現在の設定を使用して再起動します。
GEN7-35233	jQuery をアップグレードしました。
GEN7-35489	アクセス ルールの「UDP 無動作タイムアウト」の値を更新しても、30 秒にリセットされません。
GEN7-35600	制限、読み取り専用、またはゲスト管理者のログインで、「ローカル ユーザとグループ」ページに移動するとエラーが表示されます。
GEN7-35617	ファイアウォールを再起動すると、10G SFP の高可用性インターフェースリンクに「リンクなし」が表示されます。
GEN7-35690	既存のサービス オブジェクトと同じ名前で大文字小文字の異なるサービス オブジェクトを追加すると、元のオブジェクトが属するすべてのサービス グループにその新しいサービス オブジェクトが自動的に追加されてしまいます。
GEN7-35769	「すべての DNS 要求に対して DNS プロキシを強制する」を使用して「DNS プロキシ」を有効にすると、「DNS 診断」が静的 DNS プロキシ キャッシュ登録を使用しません。
GEN7-36107	セキュリティポリシーに「禁止」種別または URL が構成されている場合、ファイアウォールがクライアント デバイスに遮断ページを送信しません。
GEN7-36188	ファイアウォール管理ユーザ インターフェースとコマンドライン インターフェース (CLI) が断続的にアクセスできなくなります。ただし、トラフィックは継続してファイアウォールを通過します。

追加の参考情報

参考として、このリリースで追加で修正された問題点は以下の通りです。

GEN7-24931、GEN7-27414、GEN7-28768、GEN7-29045、GEN7-29907、GEN7-31205、GEN7-31255、GEN7-31307、GEN7-31354、GEN7-31779、GEN7-32451、GEN7-32452、GEN7-32577、GEN7-33185、GEN7-33349、GEN7-33505、GEN7-33628、GEN7-33637、GEN7-33647、GEN7-33697、GEN7-33878、GEN7-34011、GEN7-34168、GEN7-34186、GEN7-34209、GEN7-34263、GEN7-34488、GEN7-34824、GEN7-34842、GEN7-34884、GEN7-34967、GEN7-35037、GEN7-35162、GEN7-35174、GEN7-35499、GEN7-35565、GEN7-35609、GEN7-35621、GEN7-35646、GEN7-35648、GEN7-35801、GEN7-35826、GEN7-35967、GEN7-36681

確認されている問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-33905	ジャーナル ログが SonicOS から永続的に有効にできません。
GEN7-35241	IPv6 WAN インターフェースが 2 つ存在する場合、2 つめのインターフェースを IPv6 静的モードに構成するとエラー「コマンド 'dns primary xxxxx::xxx:xxxx:xxxx:xxxx' が一致しません」が表示されます。
GEN7-35248	インターフェースの DHCPv6 接頭辞委任を削除すると、別のインターフェースの接頭辞委任構成が消去されます。
GEN7-35285	パケット監視ドロップ ダウン パケットの詳細に、対象のパケットに関連しない情報が表示される場合があります。
GEN7-35640	「ラウンド ロビン」の WAN 負荷分散でバインドされている送信元と送信先 IP アドレスを使用した場合、フェールオーバーが発生するとトラフィックが期待通りに分配されません。
GEN7-35775	ローカル CFS サーバの「現在使用中」オプションが、「プライマリ」サーバに到達できない場合でも常に「プライマリ」サーバになります。
GEN7-35841	IPS シグネチャ/種別リスト オブジェクトの「一覧から項目を削除する」ボタンが動作しません。
GEN7-35947	セーフ モードを使用してファームウェアをアップロードし、現在の構成または工場出荷時の構成で再起動すると、メッセージ「Installed Firmware:」が表示された後にファイアウォールがハングします。(メモ: この問題は、NSa 4700、NSa 5700、NSa 6700、NSsp 10700、NSsp 11700 および NSsp 13700 モデルのみ影響します。) 応急: <ul style="list-style-type: none">構成を復元するには、ファイアウォールをシャットダウンしてから再起動します。セーフ モード コンソール ウィンドウとセーフ モード管理ユーザ インターフェースに同時にログインしないでください。
GEN7-36035	起動時に、ファイアウォール コンソールに「Error with HW UNIT (ハードウェア ユニットにエラー)」が表示されます。 応急: このメッセージは良性で、無視できます。
GEN7-36118	テクニカル サポート レポートをダウンロードすると、コンソールに「wlanWriteDumpToTsr cannot access (wlanWriteDumpToTsr がアクセスできません)」が表示されます。 応急: このメッセージは良性で、TSR はダウンロードできます。
GEN7-36178	FTP サーバの応答が 2 秒よりも多くかかった場合、FTP 自動化が失敗します。
GEN7-36194	2 つの VPN トンネル インターフェースで、名前の最初の 16 文字が同じの場合、「高度なルーティング」のサポートがいずれのインターフェースでも有効にできません。
GEN7-36244	管理インターフェースの前面パネル表示に、10G インターフェース (X29 ~ X33) が TwinAX ケーブルが接続されて動作中として表示され、管理インターフェースからインターフェースをシャットダウンします。

問題番号	問題の詳細
GEN7-36333	コマンドライン (CLI) のコマンド「 <code>import cli terminal merge best-effort</code> 」を使用した際に、処理が完了するまでウェブ管理インターフェースでの管理はされるべきではありません。
GEN7-36620	ステートフル フェールオーバーを使用した高可用性を設定した後に、制御インターフェースとデータ インターフェースを変更せずにステートフル フェールオーバーを無効化して再度有効化すると、セカンダリ装置が「選定 (ELECTION)」の状態のままになり、プライマリファイアウォールへのアクセスができなくなります。(メモ: この問題は、NSa 4700、NSa 5700、NSa 6700、NSsp 10700、NSsp 11700 および NSsp 13700 モデルのみ影響します。) 応急: この状態は、15 分後またはファイアウォールがシャットダウンして再起動した後に回復します。

バージョン 7.0.1-5083 - 2022 年 9 月

2022 年 9 月

この SonicOS 7.0.1 (7.0.1-5083) バージョンは、以前のリリースで見つかった問題に対する修正が含まれた、現在販売されている NSsp 15700 プラットフォームに対するメンテナンス リリースです。

サポート対象プラットフォーム

- ① **重要:** このリリースは、NSsp 15700 プラットフォームのみに適用されます。他のプラットフォームに関するリリースの情報については、「[バージョン 7.0.1-5080 - 2022 年 9 月](#)」を参照してください。

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-29975	トンネル VPN がデバイスのスレーブ ブレード上で確立され、管理トラフィックが使用された際に、ESP パケットがリモート ファイアウォールによってチェックサム エラーで破棄されます。
GEN7-30535	高可用性環境で、「Syslog サーバ」登録に対する「有効」チェックボックスの設定を変更すると、バックアップ装置に対して完全な設定情報の同期が開始されます。
GEN7-30559	大量の LDAP ユーザをインポートすると、ファイアウォールが自動的に再起動する場合があります。
GEN7-30710	SSH セッションが構成モードになり、以前の SSH セッションの構成のコミットが処理中で別の構成がコミットされた場合、デッドロック状態になる場合があります。

問題番号	問題の詳細
GEN7-30858	複数のインスタンスを予約するためにインターフェースを選択すると、「コマンド 'reserve interface Xnn' が一致しません (nn は予約したいインターフェース)。」が表示される場合があります。その後、インターフェースの選択を試みると、エラーは発生せずに成功します。
GEN7-31091	「エンドポイントセキュリティを介した SSO ログイン」を有効にすると、「エンドポイントセキュリティ強制を使用した Capture Client による SSO」のログインが動作しません。ウェブサイトにアクセスすると、ユーザ ログイン 認証ページが表示されます。ユーザ ログイン セッションの状況に、SSO/エンドポイントセキュリティが「無動作」として表示されます。
GEN7-31119	「パケット監視」と「接続監視」ページで、いくつかの始動者と応答者のルートが入れ替わって表示されます。
GEN7-31487	マスターからスレーブ ブレードへの OSPF ルート更新の同期が失敗します。
GEN7-31807	未定義インターフェースに対する既定のアドレス オブジェクトが削除できません。
GEN7-31855	OSPF タイマー間隔を変更すると、認証パスワードが変更され、OSPF の動作が停止します。
GEN7-31911	OSPF ルート ブレード同期の不一致により、接続に問題が発生する場合があります。
GEN7-31919	高可用性環境で、「現在のファームウェアをローカル バックアップの構成で起動する」を使用すると、失敗する場合があります。ファイアウォールが再起動した後に構成が更新されません。
GEN7-32062	SNMPv2 パケットは IP スプーフとして破棄されますが、SNMPv3 パケットは破棄されません。
GEN7-32096	Analytics に送信される情報が、ファイアウォールの「システム監視」データに直接表示される「アクティブな接続」と「アプリケーション帯域幅」と比較して 4 分の 1 しか報告されません。
GEN7-32102	高可用性環境で、ファイアウォール上のキャプチャ ATP スキャンの履歴が断続的に消失する場合があります。
GEN7-32117	高可用性環境で、動的ルート ブレードと高可用性同期の問題によって接続が破棄されます。
GEN7-32118	高可用性モードでフェイルオーバーした後に、セカンダリ装置がピアとの OSPF 隣接関係を維持できず、すべてのルーティング登録が失われる場合があります。
GEN7-32129	NAT 下で送信元ポート再割付を無効にした後に、エラー「NAT ポリシーによる一意の再割り当てポートの生成に失敗しました」によってファイアウォールがトラフィックを破棄する場合があります。X0 インターフェースから発信された TCP トラフィックは正しく動作しますが、ICMP は同じエラーによって破棄されます。他のインターフェースまたは VPN からの TCP と ICMP トラフィックは動作しません。(このオプションは、複数ブレードのプラットフォームから削除されました。)
GEN7-32197	高可用性環境でフェイルオーバーした後に、OSPF が無動作の状態になり、「指定ルータ」がリンク状態通知 (LSA) の開始に失敗します。
GEN7-32244	関連する OSPF 近隣者が一定期間無動作になった後、いくつかの OSPF ルーティング登録が残ったままになります。
GEN7-32253	OSPF ルート ブレード同期の不一致により、接続に問題が発生する場合があります。

問題番号	問題の詳細
GEN7-32324	セカンダリファイアウォールでシャーシセカンダリIPを追加すると、エラーメッセージ「 シャーシIPとセカンダリシャーシIPが重複しています 」が表示されます。
GEN7-32661	高可用性環境でフェイルオーバー/フェイルバックを実行すると、そのOSPFの「デフォルトルートを登録する」が動作しなくなる場合があります。
GEN7-32691	FTP設定のバックアップをスケジュール登録すると、0バイトのファイルが生成される場合があります。
GEN7-32779	静的IPv6WANインターフェースを構成すると、エラーメッセージ「 エラー: コマンド 'dns primary 2002:4860::8888' が一致しません。 」が表示されます。静的WANインターフェースのDNSフィールドを無効にするための条件が不足しています。
GEN7-33236	「1回のみスケジュール」が一致しない場合、TSR/設定をFTPで送信するための「混合スケジュール」が転送を開始しません。
GEN7-33365	「オブジェクト>プロファイルオブジェクト>侵入防御>侵入防御オブジェクト」に、9桁の共通脆弱性識別子(CVE)が存在しない、または不正です。
GEN7-33371	「工場出荷時の構成」ボタンが動作しません。
GEN7-33473	「コンテンツフィルタの確認/パスワード」動作が、ユーザ定義のHTTP/HTTPSポートを使用したウェブサイトのリダイレクトしません。
GEN7-33559	Analyticsに送信される情報が、ファイアウォールの「システム監視」データに直接表示される「 アクティブな接続 」と「 アプリケーション帯域幅 」と比較して4分の1しか報告されません。
GEN7-33630	高可用性環境で新しい「セキュリティポリシー」を追加すると、インデックス値が返されないため、アクティブファイアウォールとスタンバイファイアウォール間の同期に失敗します。
GEN7-34409	NAT LBプローブが失敗の状態の場合、自分自身の「ネットワーク監視(既定)」ポリシーを作成しようとしてますが、その名前が既存のNetMonポリシーと競合するために、SonicOSが再起動した後にNAT調査に失敗します。これが発生すると、NetMonポリシーの作成に失敗し、NATポリシーが不正になります。
GEN7-35041	Syslogメッセージの末尾の文字とログメッセージが存在しません。

追加の参考情報

参考として、このリリースで追加で修正された問題点は以下の通りです。

GEN7-29143、GEN7-30911、GEN7-31421、GEN7-32097、GEN7-32874、GEN7-35723

確認されている問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-34690	IPv6 DNS サーバを使用すると、ドメインが解決されているにもかかわらず「 解決されたアドレス 」が表示されません。

問題番号	問題の詳細
GEN7-35600	制限、読み取り専用、またはゲスト管理者のユーザ資格情報でログインした際に、「ローカル ユーザとグループ」ページに移動するとエラーが表示されます。
GEN7-35640	「ラウンドロビン」の WAN 負荷分散でバインドされている送信元と送信先 IP アドレスを使用した場合、フェールオーバーが発生するとトラフィックが期待通りに分配されません。
GEN7-35769	「DNS プロキシ」が有効かつ、「すべての DNS 要求に対して DNS プロキシを強制する」が有効の場合、「DNS 診断」が静的 DNS プロキシ キャッシュ登録を使用しません。
GEN7-35781	「ゲートウェイ番号」が 3 または 4 に設定されている場合、最後のインターフェースにトンネル VPN を使用した ECMP ルートを追加すると失敗します。

バージョン 7.0.1-5080 - 2022 年 9 月

2022 年 9 月

この SonicOS 7.0.1 バージョンは、以前のリリースで見つかった問題に対する修正が含まれた、既存のプラットフォームに対するメンテナンスリリースです。

重要

次のファイアウォール用の SonicOS 7.0.1-5080 より、ユーザは最初のログイン時に既存のパスワードを変更する必要があります: NSa 4700、NSa 5700、NSa 6700、NSsp 10700、NSsp 11700 および NSsp 13700。

サポート対象プラットフォーム

この統合されたリリースのプラットフォーム別バージョンは、以下の通りすべて同一です。

プラットフォーム	ファームウェアバージョン
TZ シリーズ	7.0.1-5080
NSa シリーズ	7.0.1-5080
NSv シリーズ	7.0.1-5080
NSsp シリーズ	7.0.1-5080

- | | | | |
|------------|--------------|------------------|-----------|
| • NSa 2700 | • NSsp 10700 | • TZ270 / TZ270W | • NSv 270 |
| • NSa 3700 | • NSsp 11700 | • TZ370 / TZ370W | • NSv 470 |
| • NSa 4700 | • NSsp 13700 | • TZ470 / TZ470W | • NSv 870 |
| • NSa 5700 | | • TZ570 / TZ570W | |
| • NSa 6700 | | • TZ570P | |
| | | • TZ670 | |

SonicOS NSv の展開は、次のプラットフォームでサポートされます。

- AWS (BYOL および PAYG)
- Microsoft Azure (BYOL)
- VMware ESXi
- Microsoft Hyper-V
- Linux KVM

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-28226	ウェブ管理インターフェースを使用中に、DHCP セクションのテーブルの列ヘッダーを使用しても、値が並び替えされません。
GEN7-23108	VPN 名に特殊文字“(”が使用できません。
GEN7-29640	「Migration Tool (移行ツール)」を使用して設定をインポートすると、スイッチの設定がインポートされません。
GEN7-30386	インポートされた「すべて」のドメインに割り当てられている LDAP ユーザで、ローカルで設定されたグループメンバーシップがウェブ管理インターフェースに表示されません。
GEN7-30450	仮想オフィス ポータルで LDAP ユーザが失効したパスワードを変更できません。
GEN7-30509	高可用性ペアで、アップロードされたファームウェアの起動は成功しますが、監査ログにはアップロードに失敗と記録されます。
GEN7-30836	モバイル接続で、要件に満たないパスワードに変更したことでログインが失敗した際に、元の SSL セッションがタイムアウトするまで後続の接続が失敗します。
GEN7-30874	WAN 負荷分散環境のネットワークセキュリティ装置が再起動した後に、DHCP WAN インターフェース上でアグレッジブ モードの VPN トンネルが確立しません。
GEN7-30959	SSL VPN の利用が多い場合、NetExtender の接続が遅くなり、頻繁に切断されます。
GEN7-31374	ネットワークセキュリティ装置が再起動した際に、W0 が「ネイティブブリッジ」モードの場合、0.0.0.1 ~ 0.0.0.254 の新しい動的スコープが作成されます。
GEN7-31453	WAN プローブが失敗してフェイルオーバーしても、ユーザ定義の静的ルートが自動的に無効化されません。
GEN7-31492	要求された接続が WAN 負荷分散インターフェースを使用している場合、高可用性の状態同期が実行され、バックアップ装置が再起動します。
GEN7-31588	「デバイス > ログ > 設定」ページで、指定したリソースにログを送信するかどうかをすべての種別に対して無効化または適用するための切り替えボタンが期待通りに動作しません。
GEN7-31660	NetExtender 接続の RDP セッションに対して UDP セッションが有効化されるため、著しいパケット損失が起こり、最終的に切断されます。
GEN7-31760	ユーザ定義ゾーンを削除または編集すると、設定がエクスポートできません。
GEN7-31820	X32 以上のインターフェースでリンク統合制御プロトコル (LACP) が期待通りに動作しません。

問題番号	問題の詳細
GEN7-31846	帯域幅管理を構成し、SSL VPNの「強制トンネル」方式を使用すると、ネットワークセキュリティ装置のスループットが低下します。
GEN7-31850	WAN 負荷分散環境で WAN 物理プローブが失敗しても、WAN 上のユーザ定義ルートが無効化されません。
GEN7-31884	SSHを使用したコマンドライン インターフェイス (CLI) で、RADIUS、LDAP または TACACS+ 認証を使用して複数のログインを同時に試みると、最初の認証が完了した後にユーザグループリストが有効ではなくなります。この状態になると、ネットワークトラフィックに障害が発生し、ウェブ管理インターフェイスにアクセスできなくなる可能性があります。
GEN7-31900	「DoS 動作プロファイル」ポリシー ページで構成を変更しても、それがログ ファイルに表示されず、監査できません。
GEN7-31907	特定のサードパーティ製スイッチで、自動ネゴシエーションをバイパスするオプションのない 1000BASE-X 自動ネゴシエーションの既定の構成が異なる場合があります。これにより、SonicWall への接続が失敗する場合があります。
GEN7-31909	「ターミナル サービス エージェント (TSA)」で識別された動作中のユーザが「ユーザ状況」ページに表示されません。
GEN7-32311	「レイヤ 2 ブリッジ」モードのインターフェイスで、「このブリッジ ペアにトラフィックをルーティングしない」オプションが無効化されている場合、DPI-SSL が正常に動作しません。
GEN7-32325	SSL VPN ポータルのドロップダウン リストに誤ったドメインが複数表示されます。
GEN7-32331	インターフェイスへの変更またはそれと同様のイベントが同時に起こると、確立された SSH セッションと試行された新しいセッションの最大数によって、SSH デモンのスレッドとウェブ サーバが動作を停止する場合があります。
GEN7-32338	SonicWall DHCP サーバが、DHCP リレーの「DHCP リレー情報オプション (オプション 82)」を処理しません。
GEN7-32347	SNMP の「getDeviceInfo」取得が不正なオブジェクト識別子を返します。
GEN7-32348	動作中のユーザが多数いる高可用性環境で、ネットワーク セキュリティ装置が再起動します。
GEN7-32349	ウェブ管理インターフェイスの「トポロジ」セクションで、DP エンジンにバッファアンダーランが発生します。
GEN7-32549	ファームウェアをアップグレードした後に、SSL サーバ証明書がインポートされない場合があります。これにより、DPI-SSL サーバが動作を停止します。
GEN7-32578	混合スケジュール オブジェクトを使用すると、管理者が「ログ自動化」ページを編集できなくなる場合があります。
GEN7-32602	UDP フラッド防御が動作している場合、DNS パケットが破棄される場合があります。
GEN7-32667	バックアップ構成を復元すると、次のエラー メッセージが表示されて WLAN PSK のパスワードが変更できません: WLAN 認証種別: が不正です。
GEN7-32718	予定外の更新時間帯にグループ鍵の更新が発生すると、WPA 状態の装置の設定が破壊されます。スケジュールが再実行された後に、無線ユーザが接続できなくなる場合があります。

問題番号	問題の詳細
GEN7-33058	「ユーザ>設定」ページの「ユーザセッション」タブで、「その他の識別できない接続の場合」の「ユーザ名をログに記録する」を8の倍数の値で構成すると、オーバーランが発生する場合があります。
GEN7-33083	セカンダリ WAN インターフェースで SNMP 監視が動作しない場合があります。
GEN7-33237	設定をインポートした後、管理者が PortShield を無効にできなくなり、次のエラーが発生する場合があります: 失敗: 無効化された PortShield ポートは、PortShield 以外に切り替えられません。
GEN7-33361	1G 銅線ポートの速度を指定すると、リンクアップの問題が発生する場合があります。
GEN7-33489	1G 銅線ポートの速度を指定すると、リンクアップの問題が発生する場合があります。
GEN7-34407	記憶装置モジュールを交換すると、ファイアウォールの起動が失敗し、致命的なエラーが表示されます。

追加の参考情報

参考として、このリリースで追加で修正された問題点は以下の通りです。

GEN7-5535、GEN7-19446、GEN7-23006、GEN7-24617、GEN7-24696、GEN7-24950、GEN7-25844、GEN7-26264、GEN7-26321、GEN7-26806、GEN7-27200、GEN7-27511、GEN7-28004、GEN7-28117、GEN7-28405、GEN7-28691、GEN7-28771、GEN7-28781、GEN7-28804、GEN7-29052、GEN7-29255、GEN7-29354、GEN7-29357、GEN7-29377、GEN7-29416、GEN7-29612、GEN7-29647、GEN7-29832、GEN7-30328、GEN7-30365、GEN7-30446、GEN7-30451、GEN7-30474、GEN7-30480、GEN7-30508、GEN7-30536、GEN7-30587、GEN7-30617、GEN7-30677、GEN7-30678、GEN7-30695、GEN7-30697、GEN7-30823、GEN7-30876、GEN7-30888、GEN7-30890、GEN7-31017、GEN7-31035、GEN7-31045、GEN7-31072、GEN7-31111、GEN7-31130、GEN7-31220、GEN7-31225、GEN7-31226、GEN7-31239、GEN7-31246、GEN7-31259、GEN7-31270、GEN7-31290、GEN7-31314、GEN7-31316、GEN7-31331、GEN7-31371、GEN7-31485、GEN7-31604、GEN7-31608、GEN7-31611、GEN7-31617、GEN7-31683、GEN7-31687、GEN7-31769、GEN7-31772、GEN7-31776、GEN7-31848、GEN7-31851、GEN7-31906、GEN7-31953、GEN7-31989、GEN7-32053、GEN7-32101、GEN7-32107、GEN7-32116、GEN7-32153、GEN7-32158、GEN7-32250、GEN7-32381

確認されている問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-33502	IPv4 または IPv6 VPN ポリシーで、ローカルとピア IKE ID を削除できません。
GEN7-33585	VLAN インターフェース上で IPv6 VPN が動作しません。
GEN7-33850	IPv6 NDP の登録が更新されないため、PPPoE IPv6 WAN トラフィックが破棄されます。 応急: ネットワークセキュリティ装置を再起動します。
GEN7-33981	「ネットワーク>IPSec VPN>ルールと設定」ページの「設定」タブで「VPN を有効にする」を無効にして再度有効にすると、すべての VPN ポリシーが無効の状態が表示されます。
GEN7-34391	クライアントシステムが、IP ヘルパー リレー ポリシーを介して DHCP v6 サーバから IPv6 アドレスを取得できない場合があります。

バージョン 7.0.1-5072 - 2022 年 6 月

2022 年 6 月

この SonicOS 7.0.1 (7.0.1-5072) バージョンは、以前のリリースで見つかった問題に対する修正が含まれた、現在販売されている NSsp 15700 プラットフォームに対するメンテナンス リリースです。

サポート 対象 プラットフォーム

- ① **重要:** このリリースは、NSsp 15700 プラットフォームのみに適用されます。
他のプラットフォームに関するリリースの情報については、「[バージョン 7.0.1-5065 - 2022 年 4 月](#)」を参照してください。

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-28720	「アプリケーション帯域幅監視」が完全な統計を報告しません、
GEN7-29262	VPN が VLAN にバインドされており、VLAN の親インターフェースが未定義の場合、マスター以外のブレードで確立されたトンネル VPN ポリシーに対する VPN トンネル インターフェースを通過するトラフィックが失敗する場合があります。
GEN7-29777	「ユーザグループ」ページに 2800 以上のユーザグループがあると、ウェブ管理インターフェースの再表示が非常に遅くなります。
GEN7-30009	「セキュリティポリシー」ページで登録を 600 以上を読み込む際に、「データなし」が短時間表示されます。
GEN7-30412	「ユーザ状況」ページで、「ユーザ」一覧の「残り無動作時間」列が正しく表示されません。
GEN7-30459	「LDAP ユーザ インポート」ページで「LDAP サーバ」からユーザグループを読み込まれる際に、最初の「LDAP グループ」のみにユーザが表示されます。
GEN7-30599	「tRemoteBackupd」に対して不要な「gBkupTaskMutex」ロックの警告がコンソールに表示されます。
GEN7-30786	ウェブ管理インターフェースで、管理者が NAT ポリシーの一覧のすべてを閲覧できません。
GEN7-30787	SSO エージェント、TSA または NTML が有効の場合、ユーザの IP から送信されたトラフィックがネットワークセキュリティ装置を通過しても、ユーザが無動作として表示されます。
GEN7-30789	高可用性を無効にすると、マスタブレードに対して SSO 失敗報告の同期を試みるため、プライマリ ネットワーク セキュリティ装置がクラッシュする場合があります。

問題番号	問題の詳細
GEN7-31032	ユーザ定義の一致オブジェクトを追加すると、エラー「Cannot read property 'id' of undefined (未定義のプロパティ'id'を読み取ることができません)」が表示されます。
GEN7-31138	ステートフル高可用性のフェイルオーバーが発生した後に、クライアントホストシステムでG-ARPが取得されないため、トラフィックが10秒以上中断されることがあります。
GEN7-31262	高可用性ペアのスタンバイ装置で、関連するインターフェースの監視IPアドレスを要求に使用していないため、「コンテンツフィルタサービス(CFS)」サーバに到達できません。
GEN7-31289	高可用性ペアでパケットキャプチャを消去すると、設定の同期がとれなくなり、セカンダリ装置が再起動します。
GEN7-31388	プライマリとセカンダリの両方のシャーシIPが構成されている高可用性構成で、プライマリファイアウォールが高可用性モードから外された際に管理インターフェース設定画面で「OK」を押下すると、IP重複エラーが表示されます。
GEN7-31425	IPヘルパーが有効化され、解決方法に「DNSの後にNetBIOS」が設定されている高可用性構成で、プライマリ装置は最終的にフェイルオーバーが発生しますが、セカンダリ装置は安定したままです。
GEN7-31625	高可用性構成のプライマリ装置にある静的LAGペアのVLANインターフェースMACアドレスが、セカンダリ装置のセカンダリLAGインターフェースに直接接続されたスイッチポートに現れるため、セットアップでエラー「evpn duplicate mac dampening detected (EVPN重複したMACダンピング検出)」が表示されます。
GEN7-31636	「システム監視」タブの「リアルタイム監視」で、「マルチコア監視」の画像に隙間が表示される場合があります。
GEN7-31803	セグメンテーション違反によりSonicOSがシャットダウンし、再起動します。
GEN7-31805	制御インターフェースの接続を抜き差しすると、高可用性設定の同期に大量の重複した同期パケットが再送信されるため、ステートフル同期が完了するのに40分かかります。
GEN7-31835	高可用性ペアのプライマリ装置でパケットキャプチャを有効にするとセグメンテーション違反が発生し、プライマリ装置が再起動しているにもかかわらずセカンダリ装置が高可用性同期モードの状態から動かなくなります。
GEN7-31931	高可用性構成で、DHCPバインドの同期中にプライマリ装置が再起動します。
GEN7-32023	高可用性ペアのプライマリ装置でパケットキャプチャまたは診断ツールを使用すると、設定の同期が開始されます。
GEN7-32032	設定をインポートすると、「ポリシー」テーブルがロックする問題が発生する場合があります。
GEN7-32163	高可用性ペアのプライマリ装置からセカンダリ装置にフェイルオーバーすると、いくつかの復号化ポリシーが失われ、ポリシーの順番が変更されます。
GEN7-32540	高可用性ペアでDPI-SSL復号化ポリシーと帯域幅管理が構成されている場合、復号トラフィック、UDPトラフィック、および、OSPFルートが高負荷で動作すると、「DP-engine-0」のスタックトレースでクラッシュし、フェイルオーバーする場合があります。
GEN7-32620	高可用性ペアでDPI-SSL復号化ポリシーと帯域幅管理が構成されている場合、復号トラフィック、UDPトラフィック、および、OSPFルートが高負荷で動作すると、「delayedLog.c」のスタックトレースでクラッシュし、フェイルオーバーする場合があります。

追加の参考情報

参考として、このリリースで追加で修正された問題点は以下の通りです。

GEN7-32314、GEN7-32297、GEN7-32215、GEN7-32192、GEN7-31905、GEN7-31849、GEN7-31297、GEN7-31272、GEN7-30337、GEN7-30082、GEN7-30054、GEN7-29178

確認されている問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-31899	DOS ポリシー ページの構成が監査できません。
GEN7-32179	ユーザ定義ゲストプロファイルを使用したゲスト アカウントが、その設定を継承しません。
GEN7-32261	トランクされた VLAN または サブ VLAN インターフェースの OSPFv3/RIPng が確立できません。

バージョン 7.0.1-5030-R945 - 2022 年 5 月

2022 年 5 月

この SonicOS 7.0.1 (7.0.1-5030-R945) バージョンは、以前のリリースで見つかった問題に対する修正が含まれた、現在販売されている NSsp 15700 プラットフォームに対するメンテナンス リリースです。

サポート対象プラットフォーム

- ① **重要:** このリリースは、NSsp 15700 プラットフォームのみに適用されます。
他のプラットフォームに関するリリースの情報については、「[バージョン 7.0.1-5030/5037 - 2021 年 12 月 / 10 月](#)」を参照してください。

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-29058	www FQDN オブジェクトも作成しないと、ワイルドカード FQDN オブジェクトのサブドメインが解決されません。
GEN7-29777	「ユーザグループ」ページに 2800 以上のユーザグループがあると、ウェブ管理インターフェースの再表示が非常に遅くなります。

問題番号	問題の詳細
GEN7-29262	VPN が VLAN にバインドされており、VLAN の親インターフェースが未定義の場合、マスター以外のブレードで確立されたトンネル VPN ポリシーに対する VPN トンネル インターフェースを通過するトラフィックが失敗する場合があります。
GEN7-30021	「 ユーザ状況 」ページのログイン済ユーザに、誤った IPv6 アドレスが表示されます。
GEN7-30065	ユーザが参加して使用中になった際に、ウェブ管理インターフェースでユーザを手動でログアウトさせようとした後に、エラー「 コマンド 'killuser ...' が一致しません 」が表示されます。
GEN7-30459	「 LDAP ユーザ インポート 」ページで「 LDAP サーバ 」からユーザグループが読み込まれる際に、最初の「 LDAP グループ 」のみにユーザが表示されます。
GEN7-30599	「tRemoteBackupd」に対して不要な「gBkupTaskMutex」ロックの警告がコンソールに表示されます。
GEN7-30681	スタンバイファイアウォールのパケット監視設定に、実行中の構成ではなくプライマリ構成が表示されます。
GEN7-30716	高可用性の設定をインポートすると、同期の問題によりエラー「 Failed to create cloned ifList (複製された ifList の作成に失敗しました) 」が表示されます。
GEN7-30743	データのアクセス中にコマンドライン インターフェース (CLI) ステージが意図せずに破壊された場合、ネットワークセキュリティ装置が再起動します。
GEN7-30786	ウェブ管理インターフェースで、管理者が NAT ポリシーの一覧のすべてを閲覧できません。
GEN7-30787	SSO エージェント、TSA または NTML が有効の場合、ユーザの IP から送信されたトラフィックがネットワークセキュリティ装置を通過しても、ユーザが無動作として表示されます。
GEN7-30789	高可用性を無効にすると、マスタブレードに対して SSO 失敗報告の同期を試みるため、プライマリ ネットワーク セキュリティ装置がクラッシュする場合があります。
GEN7-31032	ユーザ定義の一致オブジェクトを追加すると、エラー「 Cannot read property 'id' of undefined (未定義のプロパティ 'id' を読み取ることができません) 」が表示されます。
GEN7-31244	インポートされた LDAP グループを使用した復号化ポリシーを作成しようとすると、エラー「 Cannot read properties of undefined (reading 'success') (未定義のプロパティは読み込めません ('success' を読み込み)) 」が表示されます。
GEN7-31260	高可用性で、テクニカル サポート レポートが装置に読み込まれる際に、ネットワークセキュリティ装置が再起動します。
GEN7-31262	高可用性ペアのスタンバイ装置で、関連するインターフェースの監視 IP アドレスを要求に使用していないため、「 コンテンツフィルタ サービス (CFS) 」サーバに到達できません。
GEN7-31289	高可用性ペアでパケットキャプチャを消去すると、設定の同期がとれなくなり、セカンダリ装置が再起動します。
GEN7-31625	高可用性ペアのプライマリ装置にある静的 LAG ペアの VLAN インターフェース MAC アドレスが、セカンダリ装置のセカンダリ LAG インターフェースに直接接続されたスイッチポートに現れるため、セットアップでエラー「 evpn duplicate mac dampening detected (EVPN 重複した MAC ダンピング検出) 」が表示されます。

問題番号	問題の詳細
GEN7-31803	セグメンテーション違反により SonicOS がシャットダウンし、再起動します。
GEN7-31805	制御インターフェースの接続を抜き差しすると、高可用性設定の同期に大量の重複した同期パケットが再送信されるため、ステートフル同期が完了するのに 40 分かかります。
GEN7-31835	高可用性ペアのプライマリ装置でパケット キャプチャを有効にするとセグメンテーション違反が発生し、プライマリ装置が再起動しているにもかかわらずセカンダリ装置が高可用性同期モードの状態から動かなくなります。
GEN7-31889	SonicOS のスタック ベースのバッファ オーバーフローにより、サービス拒否 (DoS) が発生する可能性があります。
GEN7-31890	SNMP を介した不正なユーザによる機密情報漏洩の可能性があります。
GEN7-31990	SNMP を介した「無線アクセス ポイント (WAP)」機密情報漏洩の可能性があります。
GEN7-31991	TCP 通信チャンネルの不適切な制限により、サービス拒否 (DoS) が発生する可能性があります。
GEN7-31992	制限またはスロットリングのないリソースの割り当てにより、コンテンツ フィルタ サービス (CFS) を経由した HTTP DoS が発生する可能性があります。
GEN7-31994	不要な <code>tNetObjMgr</code> スタックトレースがコンソールに表示されます。
GEN7-32023	高可用性ペアのプライマリ装置でパケット キャプチャまたは診断ツールを使用すると、設定の同期が開始されます。
GEN7-32163	高可用性ペアのプライマリ装置からセカンダリ装置にフェイルオーバーすると、いくつかの復号化ポリシーが失われ、ポリシーの順番が変更されます。
GEN7-32418	OpenSSL ライブラリが、不正な証明書を解析することで無限ループに入り、アプリケーションへのサービス拒否 (DoS) を引き起こす可能性があります。
GEN7-32540	高可用性ペアで DPI-SSL 復号化ポリシーと帯域幅管理が構成されている場合、復号トラフィック、UDP トラフィック、および、OSPF ルートが高負荷で動作すると、「 <code>DP-engine-0</code> 」のスタックトレースでクラッシュし、フェイルオーバーする場合があります。
GEN7-32620	高可用性ペアで DPI-SSL 復号化ポリシーと帯域幅管理が構成されている場合、復号トラフィック、UDP トラフィック、および、OSPF ルートが高負荷で動作すると、「 <code>delayedLog.c</code> 」のスタックトレースでクラッシュし、フェイルオーバーする場合があります。

追加の参考情報

参考として、このリリースで追加で修正された問題点は以下の通りです。

GEN7-32215、GEN7-32032、GEN7-31993、GEN7-31953、GEN7-31931、GEN7-31803、GEN7-31636、GEN7-31297、GEN7-30536、GEN7-28170

確認されている問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-30509	高可用性ペアで、アップロードされたファームウェアを起動することには成功しますが、監査ログにはアップロードに失敗したと記録されます。
GEN7-30559	多数の LDAP ユーザをインポートすると、ネットワークセキュリティ装置が再起動します。
GEN7-31119	「パケット監視」と「接続監視」ページで、いくつかの始動者と応答者のルートが入れ替わって表示されます。
GEN7-31421	パケットキャプチャの「監視フィルタ」タブにある送信元と送信先アドレスの入力フィールドの最大文字長が 100 文字です。これは、情報チップで説明されているようにこれらのフィールドに IP アドレスを最大 10 個まで入力するには不十分な文字長です。
GEN7-32518	TFTP を使用すると、スループットが遅くなります。

バージョン 7.0.1-5065 - 2022 年 4 月

2022 年 4 月

この SonicOS 7.0.1 バージョンは、以前のリリースで見つかった問題に対する修正が含まれた、既存のプラットフォームに対するメンテナンスリリースです。

サポート対象プラットフォーム

この統合されたリリースのプラットフォーム別バージョンは、以下の通りすべて同一です。

プラットフォーム	ファームウェア バージョン
TZ シリーズ	7.0.1-5065
NSa シリーズ	7.0.1-5065
NSv シリーズ	7.0.1-5065
NSsp シリーズ	7.0.1-5065

- NSa 2700
- NSa 3700
- NSa 4700
- NSa 5700
- NSa 6700
- NSsp 10700
- NSsp 11700
- NSsp 13700
- TZ270 / TZ270W
- TZ370 / TZ370W
- TZ470 / TZ470W
- TZ570 / TZ570W
- TZ570P
- TZ670
- NSv 270
- NSv 470
- NSv 870

SonicOS NSv の展開は、次のプラットフォームでサポートされます。

- AWS (BYOL および PAYG)
- Microsoft Azure (BYOL)
- VMware ESXi
- Microsoft Hyper-V
- Linux KVM

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-19015	レイヤ 2 トンネル プロトコル (L2TP) クライアントがネットワーク アドレス変換 (NAT) IP アドレス割り当ての背後にある場合、トラフィック セレクタが一致しないパケットを破棄するため、L2TP に接続できません。
GEN7-19520	クライアント システムが多数接続されている場合に「トポロジ」表示にアクセスすると、エラーが表示されます。
GEN7-24141	古い (2020 年以前の) 装置からインポートされた VoIP 設定を持つ「ネットワーク セキュリティ管理 (NSM)」が、新しいデバイスを取得できない場合があります。
GEN7-26188	LAN バイパスの LED が期待通りに動作しません。
GEN7-26488	「ネイティブ ブリッジ モード ペア」を使用すると、ペアにした VLAN インターフェースからの IP トラフィックと、それらの間の IP トラフィックが破棄されてしまい、ファイアウォール ウェブ管理インターフェースにアクセスできなくなります。
GEN7-26726	記憶装置のログ ファイルを 2 つ以上選択すると、ファイルを削除するための「抹消」オプションが選択できません。
GEN7-28690	高可用性構成で、DP-engine-1 のセグメンテーション違反によって再起動します。
GEN7-28776	グループの追加で「管理のみ」の権限を「SSLVPN サービス」グループに追加し、「メンバーはウェブ ログインで管理 UI に直にアクセスする」を有効にして、その新しいグループを削除した場合、「仮想オフィス ブックマーク」タブが表示されません。
GEN7-28888	ネットワーク アドレス変換 (NAT) を有効にすると、サイト間 VPN 上の SNMP クエリに失敗します。
GEN7-29012	外部記憶装置を使用している場合、ネットワーク セキュリティ装置を再起動した後に、システム ログ ファイルの場所がセカンダリ記憶装置からプライマリ記憶装置に変更されます。
GEN7-29058	www FQDN オブジェクトも作成しないと、ワイルドカード FQDN オブジェクトのサブドメインが解決されません。
GEN7-29162	移行された設定を使用した場合、既定の SLA クラス オブジェクトを使用すると、「パス 選択プロファイル」インターフェース状況の「SD-WAN グループ」インターフェースに「不適合」が表示されます。
GEN7-29210	「ポート ミラー」用の 10 GB SFP+ インターフェースが追加できません。
GEN7-29376	ネットワーク セキュリティ装置を使用して管理され、トランク ポートに接続されている SonicWall スイッチが、そのネイティブ インターフェースから DHCP IP アドレスを取得しません。

問題番号	問題の詳細
GEN7-29535	コンソールに「tTimerTask」スタックトレースが 1 時間ごと表示されます。機能に影響はありません。
GEN7-29547	「仮想オフィス」ブックマークを使用して RDP セッションにアクセスすると、応答に遅延が発生する場合があります。
GEN7-29552	ユーザのパスワードが複雑なパスワードの要件を満たしていない場合、「 ユーザログイン状況 」ページで「時間ベースのワンタイムパスワード (TOTP)」鍵のバインド解除が動作しません。
GEN7-29603	「ネットワークセキュリティ管理 (NSM)」を使用してネットワークセキュリティ装置を管理すると、「WAN Group VPN」に誤った共有鍵が表示されます。
GEN7-29650	RADIUS または LDAP のクォータ制限を設定しようとする、メッセージ「 スクリプトに "exit" コマンドが 1 つ以上不足しています 」が表示される場合があります。
GEN7-29853	「インポート」ページで LDAP ユーザをインポートし、ユーザクォータを割り当てると、設定が保存されません。
GEN7-29867	「WAN > WAN」ページで「 すべて禁止 」のアクセスルールを追加しようとする、エラー「 そのルールは管理のための通信を遮断します 」が表示されます。
GEN7-29872	「サーバ DPI-SSL」にエラーメッセージ「 The server is not sending intermediate certificate (サーバは中間証明書を送信していません) 」が表示される場合があります。
GEN7-29904	高可用性ペアで、「スタンバイ」装置の「Test」LED が点滅しません。
GEN7-29990	セキュリティ上の問題により、RDP SSL VPN 仮想オフィスのブックマーク設定から「 自動的にログインする、SSL-VPN アカウント認証情報を使用する 」が削除されました。
GEN7-30015	送信先 IP アドレスがクライアントシステムと同一のサブネット内ではない場合、TCP トラフィックが WAN ゾーン ネイティブブリッジ インターフェースを通過できなくなります。
GEN7-30040	制限またはスロットリングのないリソースの割り当てにより、コンテンツフィルタサービス (CFS) を経由した HTTP DoS が発生する可能性があります
GEN7-30063	ゲストユーザが「ゲスト管理者」のグループメンバーシップに含まれている場合、メッセージ「 Auto-Generate password feature for isn't working according to the assigned Guest profile (割り当てられたゲストプロファイルによって、「パスワード自動生成」機能が動作しません) 」が表示される場合があります。ユーザー一覧をエクスポートしようとしても、ボタンが動作しません。「印刷」アイコンを使用しても、紙にパスワードが表示されません。
GEN7-30334	「ローカルユーザとグループ」で LDAP の構成を保存すると、メッセージ「 スクリプトに "exit" コマンドが 1 つ以上不足しています 」が表示される場合があります。
GEN7-30418	「WAN フェイルオーバーと負荷分散のプロープ設定」の「既定のターゲット IP」を「0.0.0.0」に変更できません。
GEN7-30590	設定のインポートに失敗し、API を通したポストファイル HTTP の問題を示すトレースが実行されます。
GEN7-30620	「VPN」種別の遮断を有効にしても、「アプリケーション制御」の「種別」リストに「VPN」種別がありません。
GEN7-30681	スタンバイファイアウォールのパケット監視設定に、実行中の構成ではなくプライマリの構成が表示されます。

問題番号	問題の詳細
GEN7-30698	「ローカル ユーザ」の再表示に時間がかかります。構成されたユーザが多数ある場合にローカル ユーザを検索すると、「ローカル ユーザ」インターフェースが応答しなくなります。
GEN7-30716	高可用性の設定をインポートすると、同期の問題によりエラー「Failed to create cloned ifList (複製された ifList の作成に失敗しました)」が表示されます。
GEN7-30743	データのアクセス中にコマンドライン インターフェース (CLI) ステージが意図せずに破壊された場合、ネットワークセキュリティ装置が再起動します。
GEN7-31049	「信頼されたりレー エージェントを確認する」が有効の場合、Global VPN Client (GVC) が「IP 取得中」状態で応答しなくなり、ファイアウォールが DHCP IP アドレスを提供できなくなる場合があります。
GEN7-31069	SNMP マネージャが、VPN を介した高可用性ペアのアイドル ファイアウォールからの応答を取得できない場合があります。
GEN7-31215	VPN ポリシーの「この VPN ポリシーに対してアクセス ルールを自動生成しない」が利用できません。
GEN7-31244	インポートされた LDAP グループを使用した復号化ポリシーを作成しようとすると、エラー「Cannot read properties of undefined (reading 'success') (未定義のプロパティは読み込めません ('success' を読み込み))」が表示されます。
GEN7-31260	高可用性で、テクニカル サポート レポートが装置に読み込まれる際に、ネットワークセキュリティ装置が再起動します。
GEN7-31313	WAN 負荷分散で、すべてのターゲットが「0.0.0.0」に設定されている場合、デフォルトゲートウェイが既定のターゲット IP アドレスとして使用できません。
GEN7-31334	外部記憶装置に保存されたログ ファイルが削除できません。
GEN7-31358	NSA 6700 のみ: 40GB インターフェース (X33) で、LACP の構成に失敗します。
GEN7-31361	「SonicPoint/SonicWave により生成された通信のみ許可する」が無効化されている場合、WLAN インターフェースの追加と編集ができません。エラー「コマンド 'no auto-discovery' が一致しません。」が表示されます。
GEN7-31420	BGP 近隣者状況の描画が約 32 キロバイトを超えると、「設定」ページが正しく表示されません。
GEN7-31746	「LDAP ユーザ グループをローカルでミラーする」を有効にしても、インポートされてミラーされたグループが表示されません。
GEN7-31987	SNMP を介した「無線アクセス ポイント (WAP)」機密情報漏洩の可能性があります。
GEN7-31988	SNMP を介した不正なユーザによる機密情報漏洩の可能性があります。
GEN7-32041	「AppFlow」を有効にすると、CP コア使用率が跳ね上がり、多くのフィールドで CP コアの CPU 使用率が 100% であると一定時間報告されます。
GEN7-32225	OpenSSL ライブラリが、不正な証明書を解析することで無限ループに入り、アプリケーションへのサービス拒否 (DoS) を引き起こす可能性があります。

追加の参考情報

参考として、このリリースで追加で修正された問題点は以下の通りです。

GEN7-19015、GEN7-19520、GEN7-24141、GEN7-26188、GEN7-26488、GEN7-26726、GEN7-28690、GEN7-28776、GEN7-28888、GEN7-29012、GEN7-29058、GEN7-29162、GEN7-29210、GEN7-29376、GEN7-29535、GEN7-29547、GEN7-29552、GEN7-29603、GEN7-29650、GEN7-29853、GEN7-29867、GEN7-29872、GEN7-29904、GEN7-29990、GEN7-30015、GEN7-30040、GEN7-30063、GEN7-30334、GEN7-30418、GEN7-30590、GEN7-30620、GEN7-30681、GEN7-30698、GEN7-30716、GEN7-30743、GEN7-31049、GEN7-31069、GEN7-31215、GEN7-31244、GEN7-31260、GEN7-31313、GEN7-31334、GEN7-31358、GEN7-31361、GEN7-31420、GEN7-31746、GEN7-32041

確認されている問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-31588	「デバイス > ログ > 設定」ページで、指定したリソースにログを送信するかどうかをすべての種別に対して無効化または適用するための切り替えボタンが期待通りに動作しません。
GEN7-31724	ユーザ定義の認証パーティションを使用すると、ユーザが「未認証ユーザ」一覧に表示されます。パーティションを無効化するか、または、既定の認証パーティションを使用すると、ユーザは「使用中のユーザ」一覧に表示されます。
GEN7-31820	X32 以上のインターフェースでリンク統合制御プロトコル (LACP) が期待通りに動作しません。
GEN7-31926	SonicWall スイッチを「専用アップリンク」トポロジに追加すると、DHCP リースが失効した後、そのスイッチに到達できなくなります。
GEN7-32258	MSSP のライセンスが失効すると、ネットワークセキュリティ装置がシステムの再起動が必要であると常に問い合わせします。
GEN7-32311	「レイヤ 2 ブリッジ」モードのインターフェースで、「このブリッジ ペアにトラフィックをルーティングしない」オプションが無効化されている場合、DPI-SSL が正常に動作しません。
GEN7-32411	「ネットワークセキュリティ管理 (NSM)」が、MSSP モードのネットワークセキュリティ装置が登録されているにもかかわらず、装置が未登録であると報告します。
GEN7-32602	UDP フラッド防御が動作している場合、DNS パケットが破棄される場合があります。
GEN7-32696	DHCP を使用している「L2 リンク統合グループ (LAG)」の統合元ポートを管理者として閉じると、トラフィックが通過できなくなります。

バージョン 7.0.1-5054 - 2022 年 4 月

2022 年 4 月

この SonicOS 7.0.1 バージョンは、以前のリリースで見つかった問題に対する修正が含まれた、既存のプラットフォームに対するメンテナンスリリースです。

サポート対象プラットフォーム

- ① **重要:** このリリースは、NSsp 15700 プラットフォームのみに適用されます。
他のプラットフォームに関するリリースの情報については、「[バージョン 7.0.1-5052 - 2022 年 4 月](#)」を参照してください。

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-19536	インターフェース速度が 10 ギガ全二重で構成されている場合、SFP+ ポートと SWS14-48 スイッチ間の 10 Gbps リンクが動作しません。 応急: SFP+ インターフェースと SWS14-48 スイッチの SFP+ インターフェースの速度を 1000Mbps 全二重で構成します
GEN7-28338	内部ブレード ユーザ同期要求 (他のブレードに対してなにかを返信するように要求し、応答があるまで待機する) の方式で、IPv6 SSO のいくつかの非効率性が修正されました。
GEN7-28475	LAN ゾーンでゲスト サービスが有効化され、ウェブ管理インターフェースを管理する管理者とゲストの両方が同じ IP アドレスを使用している場合、管理インターフェースに「 コマンド xxx が一致しません 」が表示されます。
GEN7-29412	ウェブ管理インターフェースで、「ダッシュボード」の前面パネル ウィジェットに初めてアクセスした際に、インターフェース状況指標が表示されません。
GEN7-29415	ジャンボフレームが有効化されている場合、ウェブ管理インターフェースの VLAN サブインターフェースに正しい MTU が表示されません。
GEN7-29590	IPv4/IPv6 トラフィックが存在する間に、サードパーティ API および IPv6 と IPv4 グループが重複する SSO ユーザを追加すると、断続的にクラッシュする場合があります。
GEN7-29592	多数のユーザを伴った SSO API ユーザ認証に、ブレード不一致警告が表示されます。
GEN7-29593	複数ユーザからの SSO API 要求に対する応答に複数のエラーが返されると、SSO API にメモリリークが発生する場合があります。
GEN7-29623	「L3 ポート統合」で、ウェブ管理インターフェースの「 ダッシュボード 」ページにある「 統合ポート 」に正しいリンク状況が表示されません。
GEN7-30021	「 ユーザ状況 」ページのログイン済ユーザに、誤った IPv6 アドレスが表示されます。

問題番号	問題の詳細
GEN7-30043	ロック/セマフォの長時間保持に関する警告がコンソールに表示されます。
GEN7-30065	ユーザが参加して使用中になった際に、ウェブ管理インターフェースを使用してユーザを手動でログアウトさせようとする、エラー「コマンド 'killuser ...' が一致しません」が表示されます。
GEN7-30332	ログインまたはログアウトを繰り返している IPv4 と IPv6 ユーザが混在した IPv6 アドレス キャッシュにアクセスすると、クラッシュする場合があります。
GEN7-30390	表示される VLAN の最大数が以前は 24 に設定されていました。最大 1024 の VLAN が表示されるように増加しました。
GEN7-30456	UPE ポリシーが特定の一致基準で構成されている場合、監査ログが「セキュリティポリシー」動作プロファイルの変更の報告を停止します。
GEN7-30558	高可用性のスタンバイファイアウォールで、VLAN インターフェース（物理インターフェースが LAG として構成されている）のリンクがオフになってオンになると、そのルートポリシーが誤った状況になります。
GEN7-30586	「LDAP ユーザグループをローカルでミラーする」を有効にした後、インポートされてミラーされたグループがウェブ管理インターフェースに表示されません。
GEN7-30708	スタンバイファイアウォールで、トレースバックに関する不要なシャドウポリシーが報告されます。
GEN7-30709	高可用性ペア装置でマスターブレードからスレーブブレードに対してユーザが同期された後、装置を再起動するとスレーブブレードからすべてのユーザが消去されます。
GEN7-30710	SSH セッションが構成モードになり、以前の SSH セッションの構成のコミットが処理中でいくつかの構成がコミットされた場合、デッドロックが発生する場合があります。
GEN7-30715	高可用性ペアで WAN 負荷分散と IPv6 の両方が有効の場合、不要な tHaImPrefTask スタックトレースが出力されます。
GEN7-31151	「IKEv1 メインモード」として構成された IKE バージョンを伴うサイト間 VPN フェーズ 2 トンネルの VPN トンネル統計が表示されません。
GEN7-31889	SonicOS のスタックベースのバッファオーバーフローにより、サービス拒否 (DoS) が発生する可能性があります。
GEN7-31890	SNMP を介した不正なユーザによる機密情報漏洩の可能性があります。
GEN7-31990	SNMP を介した「無線アクセスポイント (WAP)」機密情報漏洩の可能性があります。
GEN7-31991	TCP 通信チャンネルの不適切な制限により、サービス拒否 (DoS) が発生する可能性があります。
GEN7-31992	制限またはスロットリングのないリソースの割り当てにより、コンテンツフィルタサービス (CFS) を経由した HTTP DoS が発生する可能性があります。
GEN7-31994	不要な tNetObjMgr スタックトレースがコンソールに表示されます。
GEN7-32418	OpenSSL ライブラリが、不正な証明書を解析することで無限ループに入り、アプリケーションへのサービス拒否 (DoS) を引き起こす可能性があります。

追加の参考情報

参考として、このリリースで追加で修正された問題点は以下の通りです。

GEN7-31993、GEN7-31288、GEN7-30711、GEN7-30707、GEN7-30540、GEN7-30539、GEN7-30537、GEN7-30042、GEN7-29767、GEN7-29652、GEN7-29585、GEN7-29386、GEN7-29340、GEN7-29290、GEN7-27287、GEN7-26996

確認されている問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-29535	コンソールに「tTimerTask」スタックトレースが 1 時間ごと出力されます。機能に影響はありません。
GEN7-31879	「復号化」ポリシー ページの構成の変更がログ ファイルに一覧されず、監査できません。
GEN7-31899	「DoS」ポリシー ページの構成の変更がログ ファイルに一覧されず、監査できません。
GEN7-31900	「DoS 動作プロファイル」ポリシー ページの構成の変更がログ ファイルに一覧されず、監査できません。
GEN7-32261	トランクされた VLAN または サブ VLAN インターフェースの OSPFv3/RIPng が確立できません。
GEN7-32540	高可用性ペアで DPI-SSL 復号化ポリシーと帯域幅管理が構成されている場合、復号トラフィック、UDP トラフィック、および、OSPF ルートが高負荷で動作すると、「DP-engine-0」のスタックトレースでクラッシュし、フェイルオーバーする場合があります。
GEN7-32620	高可用性ペアで DPI-SSL 復号化ポリシーと帯域幅管理が構成されている場合、復号トラフィック、UDP トラフィック、および、OSPF ルートが高負荷で動作すると、「delayedLog.c」のスタックトレースでクラッシュし、フェイルオーバーする場合があります。

バージョン 7.0.1-5052 - 2022 年 4 月

2022 年 4 月

この SonicOS 7.0.1 バージョンは、以前のリリースで見つかった問題に対する修正が含まれた、既存のプラットフォームに対するメンテナンスリリースです。

サポート対象プラットフォーム

この統合されたリリースのプラットフォーム別バージョンは、以下の通りすべて同一です。

プラットフォーム	ファームウェアバージョン
TZ シリーズ	7.0.1-5052
NSa シリーズ	7.0.1-5052
NSv シリーズ	7.0.1-5052
NSsp シリーズ	7.0.1-5052

<ul style="list-style-type: none"> • NSa 2700 • NSa 3700 • NSa 4700 • NSa 5700 • NSa 6700 	<ul style="list-style-type: none"> • NSsp 10700 • NSsp 11700 • NSsp 13700 	<ul style="list-style-type: none"> • TZ270 / TZ270W • TZ370 / TZ370W • TZ470 / TZ470W • TZ570 / TZ570W • TZ570P • TZ670 	<ul style="list-style-type: none"> • NSv 270 • NSv 470 • NSv 870
--	--	---	---

SonicOS NSv の展開は、次のプラットフォームでサポートされます。

- AWS (BYOL および PAYG)
- Microsoft Azure (BYOL)
- VMware ESXi
- Microsoft Hyper-V
- Linux KVM

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-31534	NSv シリーズのみ: TCP 通信チャンネルの不適切な制限により、DoS が発生する可能性があります
GEN7-31742	NSv シリーズのみ: SNMP を介した不正なユーザによる機密情報漏洩の可能性があります
GEN7-31870	NSa シリーズ、NSsp シリーズ、TZ シリーズ: SNMP を介した無線アクセス ポイント (WAP) 機密情報漏洩の可能性があります
GEN7-31996	NSv シリーズのみ: 制限またはスロットリングのないリソースの割り当てにより、コンテンツフィルタ サービス(CFS)を経由した HTTP DoS が発生する可能性があります
GEN7-31997	NSa シリーズ、NSsp シリーズ、TZ シリーズ: SonicOS のスタック ベースのバッファ オーバーフローにより、DoS が発生する可能性があります。
GEN7-30684	KVM 上で、マニュアル キーセットを使用したオフライン登録に失敗します。
GEN7-30532	約 12 時間経過すると、コア 0 使用率が 100% まで徐々に増加します。
GEN7-30420	ステートフル フェイルオーバーを有効にした接続を伴う高可用性が、アクティブとスタンバイ装置間で完全に同期されない場合があります。
GEN7-30388	高可用性装置が応答を停止し、セカンダリがフェイルオーバーして、DP クラッシュを報告する場合があります。
GEN7-30385	NSa 3600 から NSa 3700 に移行した設定をインポートした後に NAT ページに移動すると、次のエラーが表示されます: エラーが発生しました。現在のところ原因は不明です。

問題番号	問題の詳細
GEN7-30375	装置を再起動すると、構成監査タイマーがクラッシュする場合があります。
GEN7-30022	「ARP」テーブルの「検索」フィールドが1文字しか入力を受け付けません。
GEN7-29639	ブリッジメンバがWANインターフェースにバインドされ、ファイアウォールが有効化されている場合、システムがWANサブネットにpingするとファイアウォールにアクセスできません。LANからWANへのトラフィックを含むすべてのトラフィックにも影響します。
GEN7-29637	SNMPを使用すると、メモリ使用率に誤った値が報告されます。
GEN7-29383	ファイアウォール装置が応答を停止する場合があります。
GEN7-29246	高可用性タイムアウトカスタマイズの変更により、動作中と無動作の装置間の同期に大きな構成ファイルを支援するように改善されました。
GEN7-29150	ウェブ管理インターフェースに、ICMPv6用の既定のサービスオブジェクトがありません。
GEN7-29051	ステートフルフェイルオーバー構成で、動作中のファイアウォールが無動作のファイアウォールにキャッシュ削除パケットを送信できなくなる場合があります。「バッファ無し」を報告し、無動作のファイアウォールの接続キャッシュが急速に増加します。
GEN7-29048	ポリシー基準のルートでプローブを有効にしたポイントツーポイント接続で、有効なトラフィックを「IPスプーフが破棄されました」としてファイアウォールが破棄する場合があります。
GEN7-29043	クライアントDPI-SSLがCPU使用率を高くする場合があります。
GEN7-29007	仮想インターフェースの最大転送単位(MTU)の変更に失敗します。エラーも表示されません。
GEN7-28979	装置を再起動すると、「アプリケーション制御」の「除外グループ」設定が「なし」に変更されます。
GEN7-28950	「パケット監視」に、「フィルタ」で選択されたものよりも多くのパケットが表示されます。
GEN7-28911	CASSのLDAPサーバ構成で、アンチスパムがホスト名「.local」を受け付けません。エラー「host name is empty or not valid (ホスト名が空白または有効ではありません)」によって失敗します。
GEN7-28861	プライマリWANにX1以外の値が設定されている場合、トランスペアレントインターフェース構成ページの「トランスペアレント範囲」ドロップダウンリストに、トランスペアレント範囲ホストと範囲オブジェクトがありません。
GEN7-28848	オフラインで登録されてシグネチャが更新されたデバイスで、「アプリケーショングループ」が作成できません。
GEN7-28847	「ボーダーゲートウェイプロトコル(BGP)」関連のアクセスルールを削除しても、デバイスを再起動すると再び追加されてしまいます。 この問題を解決するために、「自動追加されたBGPアクセスルールを無効にする」オプションが「診断」ページに追加されました。これを有効にすると、存在する自動追加されたBGPルールをすべて削除し、自動追加されたBGPルールが後ほど再度追加されることを防ぎます。
GEN7-28793	サードパーティ製SSO APIクライアント設定を変更すると、次のエラーが表示されます: ホスト名 / IPアドレス: ホスト名 / IPアドレスは固有でなければなりません。
GEN7-28782	ファイアウォール装置が断続的に応答を停止します。

問題番号	問題の詳細
GEN7-28762	「ゲートウェイアンチウイルス」によって遮断されない EICAR テスト ファイルがいくつかあります。
GEN7-28744	エラー「クラウド バックアップ サービスは利用できません。」によって、クラウド バックアップが作成できません。
GEN7-28682	「セカンダリ記憶装置」からシステム ログ ファイルがダウンロードできません。ファイルをダウンロードするボタンをクリックした際に、ファイルを保存するためのポップアップ ウィンドウがブラウザに表示されません。
GEN7-28622	アンナンバードトンネル インターフェースを次のホップ インターフェースとして使用した複数パス ルートを編集する際に、次のエラーが表示されます: インターフェース x の値が不正です。
GEN7-28535	負荷分散とフェイルオーバー グループ設定を変更する際に、エラー「「X1」の既定のターゲットに、有効な IPv4 アドレスを入力してください」が表示され、基本フェイルオーバー用のインターフェースの順番が異なってしまいます。
GEN7-28495	SSL-VPN サービス グループが、そのメンバー ユーザからすべての VPN アクセスオブジェクトを引き継いでしまいます。
GEN7-28464	「SonicPoint/SonicWave により生成された通信のみ許可する」が無効化されている場合、WLAN インターフェースの追加と編集ができません。これを行うと、次のエラーが表示されます: コマンド 'no auto-discovery' が一致しません。
GEN7-28447	セカンダリ サブネットを同一のインターフェースで使用すると、2 個のサブネット間の通信がセキュリティポリシーによって遮断されません。
GEN7-28412	パスワードで保護された ZIP 添付ファイルがゲートウェイアンチウイルスによってウイルスを持っていると検知されている場合でも、時々メール サーバ上の電子メールが削除されず、メール サーバへの接続も切断されません。これは、「ゲートウェイアンチウイルス」、「POP3 プロトコルの受信検査」と「パスワードで保護された ZIP ファイルの転送を制限する」設定が有効化されている場合に発生します。
GEN7-28406	「診断」の「ネットワーク設定の確認」ページで、「IP アドレス」列項目の右矢印をクリックしても、特定サーバの設定ページにリダイレクトされません。
GEN7-28397	NSa 6700 装置を再起動した後に、40GB インターフェース (X33) のリンク統合制御プロトコル (LACP) が失敗します。
GEN7-28388	「PortShield ポート画像」ページで光ファイバー インターフェースの構成に失敗します。エラー「コマンド 'link-speed auto-negotiate' が一致しません」が表示されます。
GEN7-28384	PortShield でインターフェースを WLAN ゾーンに構成できません
GEN7-28360	フェイルオーバーと負荷分散が無効の場合、プライマリ WAN をシャットダウンしてもフェイルオーバーが起こりません。
GEN7-28307	「非構成」モードで「ローカル ユーザとグループ設定」ページを構成する際に、エラー「不明な理由」が表示されます。
GEN7-28269	Azure の Marketplace またはテンプレートで NSv 仮想装置を既存の仮想ネットワークに展開すると、ネットワークセキュリティグループが X1 WAN サブネットに割り当てられません。
GEN7-28176	ウェブ管理インターフェースとコマンドライン インターフェース (CLI) で、「セッション同期」用の「ゲスト サービス」構成に誤った値が表示されます。

問題番号	問題の詳細
GEN7-28148	再起動した後に「GroupList」(DH) の生成に失敗するため、VPN が動作しません。
GEN7-28144	コマンドライン インターフェース (CLI) で、コンソール ログを FTP を介してエクスポートできません。
GEN7-28123	データプレーン コア使用率が断続的に 100% に達します。ウェブ管理インターフェースに遅延が起こり、ネットワーク ホストへのインターネット接続が中断します。
GEN7-28038	ファイアウォールとバックエンド間の通信プロトコルに使用される不正なパラメータによって、バッファ オーバーフローが起こる可能性があります。
GEN7-27950	次のエラーによって、高可用性ペアに親スイッチを手動で追加できません: 拡張スイッチ インスタンスのインデックス。
GEN7-27592	ウィンドウのサイズを変更するか、変更がなくても勝手に SSL-VPN の RDP HTML5 ブックマークが断続的に切断されます。
GEN7-26764	SSO エージェントや LDAP サーバなど RADIUS サーバ以外の種類を選択している場合でも、「認証パーティション」の「リストの編集」選択ボックスに「利用可能な RADIUS サーバ」が常に表示されます。
GEN7-26758	「トランスペアレント範囲」に、WAN サブネットに属さないアドレス オブジェクトとアドレス グループが表示されます。
GEN7-26447	ログ記憶装置にプライマリ記憶装置オプションを選択した場合、ログ ファイルのファイルの場所が更新されません。ファイルの場所には「拡張」が表示されたままです。
GEN7-26136	NetExtender を使用した接続中に、ユーザが共有ドライブにファイルを移動、複製、開く、またはアップロードすると、頻繁に切断されます。
GEN7-26089	インターフェースに 100M/10M の速度が強制されている場合、「有効化」ボタンをクリックしてインターフェースをシャットダウンし、それを有効に戻すと、「リンクなし」エラーが発生します。
GEN7-26063	QSFP+ (40G) と QSP28 (100G) ポート上で、複数速度の自動ネゴシエーションが動作しません。
GEN7-24957	2 段階認証でユーザが初めてログインするときに、原因不明のエラーが表示されます。
GEN7-24835	「トランスペアレント モード」のインターフェースを構成する際、「トランスペアレント範囲」リストにユーザ定義の「公開」ゾーンと「保護」ゾーンが割り当てられた「アドレス オブジェクト」が表示されません。
GEN7-24821	「コンテンツフィルタ」ポリシーは期待通りにウェブ ページを遮断しているにもかかわらず、ファイアウォール ログ イベントには遮断メッセージが報告されず、また、「Analytics (診断)」レポートにはウェブサイトへのアクセスが許可されたように表示されます。
GEN7-24658	既定の管理者資格情報を使用して 2 段階認証でログインしようとする、ブレード同期の問題が発生します。
GEN7-20540	高可用性ペア バックアップ装置の「IPv6 接続」ページにある送信元と送信先ルートの「ルート ポリシー詳細」が間違っています。
GEN7-20422	「ゲスト管理者」のグループ メンバーシップを持つゲストユーザがログインするとエラーが発生します。割り当てられたゲスト プロファイルによるゲスト アカウントの「パスワードを自動生成する」機能が動作しません。ゲスト ユーザリストのエクスポートができず、また、印刷アイコンを使用した際の出力にパスワードが記述されていません。

問題番号	問題の詳細
GEN7-15543	NSsp 15700 装置のマスター ブレード以外で VPN ポリシーが確立された場合、番号あり VPN トンネル インターフェースで BGP/OSPF 近隣者が確立できません。
GEN7-13640	パケット監視の構成の同期が防止されず、高可用性ペアに渡って同期されてしまいます。

追加の参考情報

参考として、このリリースで追加で修正された問題点は以下の通りです。

GEN7-22240、GEN7-23631、GEN7-23834、GEN7-24321、GEN7-25750、GEN7-25751、GEN7-25813、GEN7-26604、GEN7-26622、GEN7-26793、GEN7-27090、GEN7-27367、GEN7-27471、GEN7-27508、GEN7-27512、GEN7-27542、GEN7-27555、GEN7-27725、GEN7-27727、GEN7-27728、GEN7-27863、GEN7-27866、GEN7-27927、GEN7-27948、GEN7-27954、GEN7-27957、GEN7-27958、GEN7-28005、GEN7-28022、GEN7-28055、GEN7-28056、GEN7-28082、GEN7-28084、GEN7-28111、GEN7-28116、GEN7-28120、GEN7-28124、GEN7-28155、GEN7-28163、GEN7-28175、GEN7-28177、GEN7-28182、GEN7-28222、GEN7-28223、GEN7-28272、GEN7-28276、GEN7-28278、GEN7-28366、GEN7-28386、GEN7-28391、GEN7-28403、GEN7-28413、GEN7-28436、GEN7-28444、GEN7-28462、GEN7-28480、GEN7-28492、GEN7-28496、GEN7-28497、GEN7-28508、GEN7-28547、GEN7-28548、GEN7-28570、GEN7-28595、GEN7-28596、GEN7-28617、GEN7-28624、GEN7-28626、GEN7-28657、GEN7-28665、GEN7-28692、GEN7-28717、GEN7-28735、GEN7-28740、GEN7-28741、GEN7-28745、GEN7-28747、GEN7-28748、GEN7-28753、GEN7-28754、GEN7-28769、GEN7-28778、GEN7-28779、GEN7-28799、GEN7-28829、GEN7-28830、GEN7-28856、GEN7-28857、GEN7-28862、GEN7-28872、GEN7-28889、GEN7-28901、GEN7-28914、GEN7-28934、GEN7-28978、GEN7-29084、GEN7-29103、GEN7-29111、GEN7-29165、GEN7-29174、GEN7-29176、GEN7-29184、GEN7-29237、GEN7-29247、GEN7-29264、GEN7-29288、GEN7-29298、GEN7-29318、GEN7-29339、GEN7-29344、GEN7-29350、GEN7-29355、GEN7-29543、GEN7-29548、GEN7-29619、GEN7-29683、GEN7-29740、GEN7-29768、GEN7-29772、GEN7-29773、GEN7-29796、GEN7-29809、GEN7-29830、GEN7-29843、GEN7-29844、GEN7-30018、GEN7-30083、GEN7-30308、GEN7-30333、GEN7-30445、GEN7-30448、GEN7-30482、GEN7-30505、GEN7-30532、GEN7-30595、GEN7-30619、GEN7-30741、GEN7-30768、GEN7-30772、GEN7-30908、GEN7-30990、GEN7-31089

確認されている問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-31453	WAN プローブが失敗し、フェイルオーバーしても、ユーザ定義の静的ルートが自動的に無効化されません。
GEN7-31247	「ネイティブブリッジモードペア」を使用すると、ペアにした VLAN インターフェースからの IP トラフィックと、それらの間の IP トラフィックが破棄されてしまい、ファイアウォール ウェブ管理インターフェースにアクセスできなくなります。
GEN7-30899	パケット損失が多い IPS のネットワークで、復号化された各接続に対して DPI-SSL が追加のメモリを消費する場合があります。
GEN7-30810	サービス グループの名前に番号を使うと、サービス オブジェクトがその番号をポートとして使用できなくなります。
GEN7-30418	「WAN フェイルオーバーと負荷分散のプローブ設定」の「既定のターゲット IP」を「0.0.0.0」に変更できません。

問題番号	問題の詳細
GEN7-29872	「サーバ DPI-SSL」を使用すると、エラー メッセージ「The server is not sending intermediate certificate (サーバは中間証明書を送信していません)」が表示される場合があります。
GEN7-29867	「WAN > WAN」を「すべて禁止」するアクセス ルールを追加しようとすると、エラー「そのルールは管理のための通信を遮断します」が表示されます。
GEN7-29853	「インポート」ページで LDAP ユーザをインポートし、ユーザ クォータを割り当てると、設定が保存されません。 応急: ユーザ毎に割り当てると設定が保存されます。
GEN7-29640	「Migration Tool (移行ツール)」を使用して設定をインポートすると、スイッチの設定がインポートされません。
GEN7-29552	ユーザのパスワードが複雑なパスワードの要件を満たしていない場合、「ユーザ ログイン状況」ページで「時間ベースのワンタイム パスワード (TOTP)」鍵のバインド解除が動作しません。
GEN7-29535	コンソールに「tTimerTask」スタックトレースが 1 時間ごと表示されます。
GEN7-29415	ジャンボ フレームが有効化されている場合、ウェブ管理インターフェースの VLAN サブインターフェースに正しい最大転送単位 (MTU) が表示されません。
GEN7-29262	VPN が VLAN インターフェースにバインドされており、VLAN の親インターフェースが未定義の場合、マスター以外のブレードで確立されたトンネル VPN ポリシーに対する VPN トンネル インターフェースを通過するトラフィックが失敗します。 応急: VLAN に親の物理インターフェースを割り当てます。
GEN7-29210	「ポート ミラー」用の 10 GB SFP+ インターフェースが追加できません。
GEN7-29058	www FQDN オブジェクトも作成しないと、ワイルドカード FQDN オブジェクトのサブドメインが解決されません。
GEN7-28816	装置を再起動すると、ユーザ定義 VLAN ID を伴ってトランクされた VLAN インターフェースから ping できません。
GEN7-28760	100GbE ポートが取り付けられた複数インスタンスの仮想ファイアウォールで、このインターフェースが 1GbE リンクとして表示されます。
GEN7-28475	LAN ゾーンでゲスト サービスが有効化され、同じ IP アドレスがウェブ管理インターフェースを管理する他の管理者とゲストによって使用されている場合、ウェブ管理インターフェースに「コマンド xxx が一致しません」が表示されます。
GEN7-26488	「ネイティブブリッジ モード ペア」を使用すると、ペアにした VLAN インターフェースからの IP トラフィックと、それらの間の IP トラフィックが破棄されてしまい、ファイアウォールウェブ管理インターフェースにアクセスできなくなります。
GEN7-24141	古い (2020 年以前の) 装置からインポートされた VoIP 設定を持つネットワークセキュリティ マネージャが、新しいデバイスを取得できない場合があります。
GEN7-19015	レイヤ 2 トンネル プロトコル (L2TP) クライアントがネットワーク アドレス変換 (NAT) IP アドレス割り当ての背後にある場合、トラフィック セレクタが一致しないパケットを破棄するため、L2TP に接続できません。

バージョン 7.0.1-5030/5037 - 2021 年 12 月 / 10 月

2021 年 10 月

この SonicOS 7.0.1 (7.0.1-5030-R780) バージョンは、以前のリリースで見つかった問題に対する修正が含まれた、現在販売されている NSsp 15700 プラットフォームに対するメンテナンス リリースです。

サポート対象プラットフォーム

このリリースに対するプラットフォーム別バージョンは、NSsp 15700 プラットフォームに適用されます。

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-30375	構成監査タイマーの再起動中にクラッシュします。
GEN7-30332	ログ インとログアウトを繰り返している IPv4 と IPv6 ユーザが混在する IPv6 アドレス キャッシュにアクセスすると、クラッシュします。
GEN7-30022	ARP テーブルの検索が 1 文字しか受け付けません。
GEN7-30021	「ユーザ状況」ページのログイン済ユーザに、誤った IPv6 アドレスが表示されます。
GEN7-29792	いくつかの IPv6 VLAN が構成された設定を読み込むと、高可用性が構成された装置がフェイルオーバーとフェイルバックを繰り返します。
GEN7-29623	「L3 ポート統合」で、ユーザ インターフェースの「ダッシュボード」ページにある「統合ポート」に正しいリンク状況が表示されません。
GEN7-29620	インターフェースの SSO サードパーティ API 構成詳細ページにある確認セキュリティレベルを変更すると、次のエラー メッセージが表示されます: ホスト名/IP アドレス: ホスト名/IP アドレスは固有でなければなりません。
GEN7-29593	複数ユーザからの SSO API 要求に対する応答に複数のエラーが返されると、SSO API にメモリリークが発生します。
GEN7-29592	多数のユーザを伴った SSO API ユーザ認証に、ブレード不一致警告が表示されます。
GEN7-29590	IPv4/IPv6 トラフィックが存在する間に、サードパーティ API および IPv6 と IPv4 グループが重複する SSO ユーザを追加すると、断続的にクラッシュします。
GEN7-29415	ジャンボフレームが有効化されている場合、ユーザ インターフェースの VLAN サブインターフェースに正しい MTU が表示されません。
GEN7-29412	「ダッシュボード」に初めてアクセスした際、「正面パネル」ウィジェットにユーザ状況のインジケータが表示されません。

問題番号	問題の詳細
GEN7-29246	高可用性タイムアウト カスタマイズの変更により、大きな構成ファイルを同期できるように改善されました。
GEN7-29150	ユーザ インターフェースに、ICMPv6 に対する既定のサービス オブジェクトがありません。
GEN7-28793	サードパーティ SSO API クライアント設定を変更すると、次のエラーが表示されます: ホスト名 / IP アドレス: ホスト名/IP アドレスは固有でなければなりません。
GEN7-28338	内部ブレード ユーザ同期要求 (他のブレードになにかを送信して待機する要求) の方式で、IPv6 SSO の多くの非効率性を修正しました。
GEN7-20540	高可用性ペア バックアップ装置の IPv6 接続ページにある送信元と送信先ルートの「ルートポリシー詳細」が間違っています。

確認されている問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-30590	設定のインポートに失敗し、APIを通したポスト ファイル HTTP の問題を示すトレースが実行されます。
GEN7-30560	「すべてのユーザ」グループを含むセキュリティールールを使用して LAN から WAN にアクセスしているユーザがログイン後にパスワードを変更すると、デバイスに未確定エラーが表示されます。
GEN7-30559	多数のユーザが含まれた LDAP のインポート中に再起動します。
GEN7-30459	「LDAP ユーザ インポート」ページで、LDAP サーバから読み取られたユーザ グループの最初の LDAP グループ位置のみにしかユーザが表示されません。
GEN7-30065	インターフェースから手動でユーザをログアウトさせようとする、一度入力したユーザがアクティブになり、エラー「コマンド 'killuser ...' が一致しません」が発生します。
GEN7-30009	「セキュリティポリシー」ページで登録を 600 個以上読み込む際に、「データなし」が一瞬表示されます。
GEN7-29777	ユーザグループが 2,800 以上超える場合に「ユーザグループ」ページを再表示すると、ユーザ インターフェースが非常に遅くなります。

2021 年 10 月

この SonicOS 7.0.1 バージョンは、以前のリリースで見つかった問題に対する修正が含まれた、既存のプラットフォームに対するメンテナンスリリースです。

サポート対象プラットフォーム

この統合されたリリースのプラットフォーム別バージョンは、以下の通りすべて同一です。

プラットフォーム	ファームウェアバージョン
TZ シリーズ	7.0.1-5030 および 7.0.1-5037
NSa シリーズ	7.0.1-5030 および 7.0.1-5037
NSv シリーズ	7.0.1-5030 および 7.0.1-5037
NSsp シリーズ	7.0.1-5030 および 7.0.1-5037

<ul style="list-style-type: none"> • NSa 2700 • NSa 3700 • NSa 4700 • NSa 6700 	<ul style="list-style-type: none"> • NSsp 13700 • NSsp 15700 	<ul style="list-style-type: none"> • TZ270 / TZ270W • TZ370 / TZ370W • TZ470 / TZ470W • TZ570 / TZ570W • TZ570P • TZ670 	<ul style="list-style-type: none"> • NSv 270 • NSv 470 • NSv 870
--	--	---	---

SonicOS NSv の展開は、次のプラットフォームでサポートされます。

- AWS (BYOL および PAYG)
- Microsoft Azure (BYOL)
- VMware ESXi
- Microsoft Hyper-V
- Linux KVM

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-25465	LDAP ユーザ グループを削除できません
GEN7-25712	特定のスイッチ ベンダーの 25G 実装に互換性の問題があります
GEN7-26035	LAG のメンバーを追加した後にそれが L2 LAG ポートにバインドされると、番号なし VPN トンネル インターフェースの OSPF が無効になります。
GEN7-26419	<i>NSsp 15700</i> のみ: ウェブ管理インターフェースで「インターフェースリンク速度」が構成できません。コマンドライン インターフェース (CLI) では構成できます。
GEN7-26507	SPI の呼び出しが行われた際に、呼び出しの準備に 10 ~ 60 秒の遅延が発生する場合があります。
GEN7-26613	「高可用性 > 設定」ページで、セカンダリファイアウォールの「シリアル番号」フィールドに、小文字のシリアル番号が入力できません。
GEN7-26653	Capture Client URI 「captureclient-36.sonicwall.com」に対する管理コンソールが許可リストに追加されていないため、Capture Client のインストールとライセンス登録ができず、ポリシーと証明書が利用できません。
GEN7-26710	「デバイス > ユーザ > 認証パーティション」ページで、新しく追加されたポリシーのパーティションが変更できません。
GEN7-26785	デバイスに Capture Client がインストールされている場合、そのデバイスへのアクセスがエンドポイント強制によって許可されません。
GEN7-26827	「インターフェース」ページで、10G RJ45 (X16 ~ X19) のリンク速度に自動ネゴシエーションされた 5Gbps が表示されます。

問題番号	問題の詳細
GEN7-27038	ウェブ管理インターフェースの「デバイス>ユーザ>LDAP 構成」ページに、子 LDAP サーバが表示されません。
GEN7-27047	高可用性を使用すると、最初の同期の後にセカンダリ装置上で管理用証明書が使用されません。
GEN7-27429	NSA 6700 のみ: 40GB インターフェース (X33) に LACP を作成できません
GEN7-27441	ゲスト サービスが有効化された LAN ゾーン上で、ゲスト サービス ユーザ インターフェースの認証に失敗します。
GEN7-27514	イベント ログに OSPF のイベントが表示されません。
GEN7-27823	負荷分散グループの「比率」モードを構成しても、エラー メッセージ「コマンド 'rank 1' が一致しません」が表示されて構成に失敗します。
GEN7-27936	メイン電源とバックアップ電源 (UPS) が切り替わると、ネットワークセキュリティ装置が機能しなくなります。
GEN7-27976	Dell スイッチをデ이지チェーン構成の PortShield で使用すると、親スイッチで動作しません。
GEN7-28110	前世代の装置から移行した設定をインポートしたネットワークセキュリティ装置が、ネットワークセキュリティ管理の取得中に動作しなくなります。
GEN7-28225	クラウドバックアップからの設定で復旧できません。
GEN7-28270	工場出荷時の状態へリセットするかどうかの確認で「キャンセル」をクリックしても、装置が工場出荷時の状態にリセットされます。

追加の参考情報

参考として、このリリースで追加で修正された問題点は以下の通りです。

GEN7-28157、GEN7-27978、GEN7-27955、GEN7-27950、GEN7-27930、GEN7-27834、GEN7-27766、GEN7-27747、GEN7-27712、GEN7-27703、GEN7-27671、GEN7-27670、GEN7-27571、GEN7-27515、GEN7-27473、GEN7-27453、GEN7-27432、GEN7-27239、GEN7-27216、GEN7-27203、GEN7-27181、GEN7-27174、GEN7-27138、GEN7-27095、GEN7-27094、GEN7-27062、GEN7-27041、GEN7-27025、GEN7-26853、GEN7-26819、GEN7-26773、GEN7-26716、GEN7-26715、GEN7-26551、GEN7-26518、GEN7-26346、GEN7-25966、GEN7-24904、GEN7-24809、GEN7-23834

確認されている問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-28144	コンソールで、コンソール ログを FTP を使用してエクスポートできません。 応急: SCP を使用してファイルを転送します。
GEN7-28238	WAN 負荷分散とフェイルオーバー設定で、プライマリの階級が 1 でアクティブの状態でも、電源オフからの起動またはファームウェアをアップグレードした後に、バックアップ WAN からトラフィックが送られてきます。 応急: 負荷分散の設定で階級を交替し、階級を元の構成に交替し直します。

問題番号	問題の詳細
GEN7-28269	Azure 上の NSv を既存の VNET に展開すると、NSG が X1 WAN サブネットに割り当てられません。 応急: 既存の WAN サブネットまたは NSv X1 インターフェース上の NSG を手動で構成します。
GEN7-28360	フェイルオーバーと負荷分散が無効の場合、プライマリ WAN をシャットダウンしてもフェイルオーバーが起こりません。
GEN7-28384	PortShield のインターフェースを WLAN ゾーンに構成できません。
GEN7-28388	「PortShield ポート画像」ページで光ファイバー インターフェースを構成しようとする、エラー「コマンド 'link-speed auto-negotiate' が一致しません」が表示されます。
GEN7-28397	NSa 6700 のみ: 装置を再起動した後に、40GB インターフェースの LCAP が機能しません。
GEN7-28463	WLB 種別の「スピルオーバー」が、構成とは逆順のインターフェースで動作します。

バージョン 7.0.1-5026 - 2021 年 9 月

2021 年 9 月

この SonicOS 7.0.1 バージョンは、以前のリリースで見つかった問題に対する修正が含まれた、既存のプラットフォームに対するメンテナンスリリースです。

サポート対象プラットフォーム

① **重要:** この SonicOS 7.0.1 リリースは、次のモデルのみの SonicWall ネットワークセキュリティ装置でサポートされています。

プラットフォーム	ファームウェア バージョン
NSa 6700	7.0.1-5026

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-26344	ネットワークセキュリティ装置が再起動中に中止の信号を受信することにより、ネットワーク インターフェースがリンクの確立に失敗します。
GEN7-27399	X0 ポートの使用時に、ネットワークセキュリティ装置のウェブ管理インターフェースが利用できなくなります。

バージョン 7.0.1-5023 - 2021 年 8 月

2021 年 8 月

この SonicOS 7.0.1 バージョンは、以前のリリースで見つかった問題に対する修正が含まれた、既存のプラットフォームに対するメンテナンスリリースです。

サポート対象プラットフォーム

この統合されたリリースのプラットフォーム別バージョンは、以下の通りすべて同一です。

プラットフォーム	ファームウェアバージョン
TZ シリーズ	7.0.1-5023
NSa シリーズ	7.0.1-5023
NSv シリーズ	7.0.1-5023
NSsp シリーズ	7.0.1-5023

- NSa 2700
- NSa 3700
- NSa 4700
- NSa 6700
- NSsp 13700
- NSsp 15700
- TZ270 / TZ270W
- TZ370 / TZ370W
- TZ470 / TZ470W
- TZ570 / TZ570W
- TZ570P
- TZ670
- NSv 270
- NSv 470
- NSv 870

NSv 270/470/870 の展開は、次のプラットフォームでサポートされます。

- AWS (BYOL および PAYG)
- Microsoft Azure (BYOL)
- VMware ESXi
- Microsoft Hyper-V
- Linux KVM

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-24501	「物理監視のみ」を有効にすると、親インターフェースがシャットダウンしても、プライマリ WAN インターフェースとして設定された VLAN インターフェースがフェイルオーバーしません。
GEN7-25650	OSPF ルートが動作中として表示されません。

問題番号	問題の詳細
GEN7-26235	ウェブ管理インターフェースの「フェイルオーバーと負荷分散」ページで変更を行うと、「LB Group」の値に不要な並び替えが行われます。
GEN7-26534	WAN インターフェースの設定で、「論理/プローブ監視有効」と「物理監視のみ」が切り替えられません。
GEN7-26645	「ユーザ設定」で「ユーザ認証方式」を選択しても、それに対する変更が保存されません。
GEN7-26741	不要なアドレスグループが削除できません。
GEN7-26987	「ネットワーク>ファイアウォール>詳細>内部 VLAN」ページの「VLAN ID」を3に変更すると、DHCP 要求に対する応答が X0 ではなく X1 からされるため、ウェブ管理インターフェースにアクセスできなくなります。

追加の参考情報

参考として、このリリースで追加で修正された問題点は以下の通りです。

GEN7-27591、GEN7-27543、GEN7-27007、GEN7-26908、GEN7-26624、GEN7-26571、GEN7-26338、GEN7-26179、GEN7-23551

確認されている問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-26785	デバイスに Capture Client がインストールされている場合、「エンドポイント強制」がそのデバイスへのアクセスを許可しません。
GEN7-27823	負荷分散グループの「比率」モードを構成しても、エラーメッセージ「コマンド 'rank 1' が一致しません」が表示されて構成に失敗します。 応急: コマンドライン インターフェース (CLI) を使用して比率モードの構成または変更を行います。
GEN7-27849	「アプリケーション制御ポリシー」種別の「除外アドレス」でアドレス オブジェクトグループを選択すると、エラーが表示されます。

バージョン 7.0.1-5019 - 2021 年 8 月

2021 年 8 月

この SonicOS 7.0.1 バージョンは、以前のリリースで見つかった問題に対する修正が含まれた、既存のプラットフォームに対するメンテナンス リリースです。

サポート対象プラットフォーム

① **重要:** この SonicOS 7.0.1 リリースは、次のモデルのみの SonicWall ネットワークセキュリティ装置でサポートされています。

プラットフォーム	ファームウェアバージョン
NSa 4700	7.0.1-5019
NSa 6700	7.0.1-5019
NSsp 13700	7.0.1-5019

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-26374	10GB インターフェースで高可用性が正しく動作しません。インターフェースが未接続の状態になります。
GEN7-26816	「LAN バイパス」の既定値が「オフ」に設定されていません。
GEN7-26990	セーフモードの「消去」処理の間に電源を切ると、ネットワークセキュリティ装置が復旧不可能な状態になります。

確認されている問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-27207	「速度を上書きする」を有効にすると「リンク速度」フィールドが使用不可になるため、設定ができません。

バージョン 7.0.1 - 2021 年 7 月

2021 年 7 月

この SonicOS 7.0.1 バージョンには、以前のリリースで見つかった多くの問題に対する修正が含まれた、既存のプラットフォームに対するメンテナンスリリースです。このリリースには、SonicWall NSa 4700、NSa 6700 および NSsp 13700 ネットワークセキュリティ装置のサポートも含まれています。

サポート対象プラットフォーム

① | **メモ:** このリリースより、SonicOS リリース番号から 'R' ラベルが省かれます。

この統合されたリリースのプラットフォーム別バージョンは、以下の通りすべて同一です。

プラットフォーム	ファームウェアバージョン
TZ シリーズ	7.0.1-5018
NSa シリーズ	7.0.1-5018
NSv シリーズ	7.0.1-5018
NSsp シリーズ	7.0.1-5018

この SonicOS 7.0.1 リリースは、次の SonicWall ネットワークセキュリティ装置でサポートされています。

- NSa 2700
- NSa 3700
- NSa 4700
- NSa 6700
- NSsp 13700
- NSsp 15700
- TZ270 / TZ270W
- TZ370 / TZ370W
- TZ470 / TZ470W
- TZ570 / TZ570W
- TZ570P
- TZ670
- NSv 270
- NSv 470
- NSv 870

NSv 270/470/870 の展開は、次のプラットフォームでサポートされます。

- AWS (BYOL および PAYG)
- Microsoft Azure (BYOL)
- VMware ESXi
- Microsoft Hyper-V
- Linux KVM

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-15543	NSsp 15700 のマスター ブレード以外で VPN ポリシーが確立された場合、番号あり VPN トンネル インターフェースで BGP/OSPF の確立が失敗します。
GEN7-16351	NSsp 15700 で認証パーティションを有効にして LDAP サーバを追加または編集した際に、パーティション フィールドとオプションが表示されません。
GEN7-21526	切断された後に、ファイアウォールを再起動するまで 2 回目の PPPoE 接続が接続されません。

問題番号	問題の詳細
GEN7-21977	NSa 3700 で Dell X-シリーズ スイッチの追加、削除、構成、管理が期待通り動作しません。エラーメッセージ「エラー: 拡張スイッチ インスタンスのインデックス」が表示されます。
GEN7-22545	WAN インターフェースのパケットが破棄されて、インターネットのアクセスが中断します。
GEN7-22706	複数レベルのデジリー チェインにおいて、第 1 レベル以降の SonicWall スイッチの検出に長時間かかります。
GEN7-22772	複数レベルのチェインを使用すると、親の SonicWall スイッチの VLAN が正しく構成されません。
GEN7-22826	Internet Explorer および Safari ブラウザで、ポータル ページから RDP サービス ブックマークを起動できません。
GEN7-22868	LDAP ユーザおよびユーザ グループのインポートで、以前にインポートされたユーザ/グループは表示されるべきではありません。
GEN7-22950	「ポリシー セキュリティ サービス > サマリ」ページでシグネチャを手動で更新した際に、誤ったシグネチャファイル ID '3' が表示されます。これは、'6' であるべきです。
GEN7-22972	X0 インターフェースの SSH 管理を無効にして再度有効にした後、LAN PC が SSH ターミナル セッションをオープンできません。
GEN7-23108	NSv を手動キーセットで登録した後に、X1 インターフェースを管理用として有効にできません。
GEN7-23121	テナントを新しいファームウェア バージョンにアップグレードした後、テナントが 1 ~ 2 時間後に故障状態になります。
GEN7-23168	手動鍵で登録した後に MySonicWall アカウントにログインした場合、「シリアル番号」と「認証コード」は必須であるべきではありません。
GEN7-23211	NSv で、WAN PPPoE インターフェース編集ウィンドウのプロトコル ページが存在しません。
GEN7-23389	インターフェースを「トランスパレント モード」で構成すると、ファイアウォールのドロップ ダウン リストに「DMZ アドレス グループ」が表示されません。
GEN7-23408	グローバルの防御/検知を有効にしても、アンチスパイウェア シグネチャが有効化されません。
GEN7-23410	SonicOS 7.0.1 が動作するファイアウォールの旧ユーザ インターフェースで「ネットワーク > ゾーン」ページに移動すると、ログイン ページにリダイレクトされてしまいます。
GEN7-23481	PortShield ホストのポートがリンクなしの場合、リンクされた他の PortShield メンバポート上で PortShield モードの管理トラフィックが動作しません。
GEN7-23502	インターフェースの有効化と無効化に問題があります。
GEN7-23504	GroupVPN ポリシーの既定のアルゴリズムを AESGCM-256 に変更します。
GEN7-23526	SSL VPN 仮想オフィスの RDP HTML5 ブックマークが期待通りに動作しません。

問題番号	問題の詳細
GEN7-23583	NSsp 15700 で「コンテンツフィルタ サービス (CFS)」とユーザレベル認証の両方を使用すると、セキュリティポリシーに問題が発生します。
GEN7-23793	複数パス ルートポリシーで、追加のゲートウェイが設定されません。
GEN7-23848	ユーザ定義一致を作成または編集しても、一致オブジェクトのフィールドが設定されません。
GEN7-23911	ルートポリシーを編集する際に、正しいアドレス オブジェクトが表示されません。
GEN7-23957	スイッチ インターフェース (スイッチ 2) から VLAN インターフェースへの PortShield アップリンク時にエラーが発生します。
GEN7-24136	バックエンド サーバとの通信時に、インターフェース選択一覧内のインターフェースが 2 個表示されます。
GEN7-24137	バックエンド サーバとの通信時に、特定のインターフェースの選択が期待通りに動作せず、「すべて」が常に表示されます。
GEN7-24224	緊急データを伴う有効な TCP パケットが破棄されます。
GEN7-24458	AWS 用 NSv で、API がユーザ定義タグと値を表示しません。
GEN7-24521	AWS 用 NSv で、AWS VPN が VPC の詳細を表示しません。
GEN7-24533	自動生成されたゲスト アカウントでログインに失敗し、エラー「Module not ready (モジュールが準備できていません)」が報告されます。
GEN7-24577	TCP 緊急 - UI の実装
GEN7-24741	DNS 設定で「手で DNS サーバを指定する」オプションを選択し「適用」をクリックすると、選択したオプションが「WAN ゾーンと同じ DNS サーバ設定にする」に変更されます。
GEN7-25457	マルチブレードの NSsp で、番号付けされたトンネル インターフェースの RIP/OSPF を有効化/無効化すると、エラーが表示されます。
GEN7-25770	VPN トンネル インターフェースを最初以外のインターフェースとして構成すると、複数パス ルートポリシーの追加に失敗します。
GEN7-25830	「GATEWAY AV EXCLUSION LIST (ゲートウェイ アンチスパイウェア除外リスト)」内に作成したアドレス オブジェクトが、「アドレス オブジェクトを使用する」ドロップダウンメニューに表示されません。
GEN7-26006	SSL VPN ポータルで、エラー「HTTP Security Header Not Detected (HTTP セキュリティ ヘッダーが検出できません)」が表示されて PCI スキャンに失敗する問題を修正しました。
GEN7-26336	「仮想 MAC アドレス」を有効にすると、インターフェースが DHCP リースを再取得した後に、ファイアウォールが既定の MAC アドレスを使用して重複回避用 ARP 応答を送信し、接続が失われます。
GEN7-28086	アドレス グループ編集ウィンドウのアドレス一覧に、アドレス グループが候補として表示されません。

追加の参考情報

参考として、このリリースで追加で修正された問題点は以下の通りです。

GEN7-18760、GEN7-20414、GEN7-21047、GEN7-21094、GEN7-21234、GEN7-21357、GEN7-22055、GEN7-22353、GEN7-22362、GEN7-22480、GEN7-22545、GEN7-22684、GEN7-22685、GEN7-22826、GEN7-22877、GEN7-23173、GEN7-23184、GEN7-23191、GEN7-23220、GEN7-23281、GEN7-23287、GEN7-23329、GEN7-23363、GEN7-23364、GEN7-23368、GEN7-23375、GEN7-23389、GEN7-23392、GEN7-23411、GEN7-23453、GEN7-23490、GEN7-23518、GEN7-23526、GEN7-23531、GEN7-23541、GEN7-23549、GEN7-23565、GEN7-23572、GEN7-23582、GEN7-23700、GEN7-23760、GEN7-23798、GEN7-23807、GEN7-23840、GEN7-23870、GEN7-23871、GEN7-23873、GEN7-23885、GEN7-23904、GEN7-23911、GEN7-23935、GEN7-23939、GEN7-23966、GEN7-23987、GEN7-23991、GEN7-23992、GEN7-24034、GEN7-24054、GEN7-24056、GEN7-24057、GEN7-24059、GEN7-24060、GEN7-24061、GEN7-24062、GEN7-24063、GEN7-24064、GEN7-24109、GEN7-24134、GEN7-24135、GEN7-24140、GEN7-24178、GEN7-24187、GEN7-24292、GEN7-24305、GEN7-24329、GEN7-24348、GEN7-24429、GEN7-24567、GEN7-24568、GEN7-24587、GEN7-24633、GEN7-24689、GEN7-24693、GEN7-24751、GEN7-24756、GEN7-24810、GEN7-24819、GEN7-24847、GEN7-24884、GEN7-24888、GEN7-24895、GEN7-24933、GEN7-24971、GEN7-24994、GEN7-25000、GEN7-25456、GEN7-25473、GEN7-25521、GEN7-25538、GEN7-25566、GEN7-25568、GEN7-25606、GEN7-25624、GEN7-25746、GEN7-25818、GEN7-25819、GEN7-25833、GEN7-25944、GEN7-26348

確認されている問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-22389	NSsp 15700 の「状態同期」機能で、再送信バッファのシーケンス番号が配列型要素に一致しないという重大な予期されないエラーが表示されます。
GEN7-23716	管理者の資格情報または SonicOS 管理者権限を持つユーザ資格情報でユーザがログインし、「ネットワーク>ゾーン」ページに移動すると、ユーザがログアウトされて、ログイン ページにリダイレクトされます。
GEN7-24864	ローカル パケット ミラーが反映されません。
GEN7-24957	NSsp 15700 で、時間ベースのワンタイム パスワード (TOTP) を有効にしたユーザが初めてログインすると、エラーが常に表示されます。
GEN7-25016	テクニカル サポート レポート (TSR) と SonicOS ウェブ管理インターフェースの外部記憶装置の表示が誤っています。
GEN7-25712	NSsp 13700 の X24 ~ X31 ポートで、25G ダイレクト アタッチ ケーブル (DAC) の速度あるいは誤り訂正を自動ネゴシエートしない場合があります。
GEN7-26035	リンク統合 LAG のメンバーを追加した後にそれがレイヤー 2 LAG ポートにバインドされると、番号なし VPN トンネル インターフェースの OSPF が無効になります。
GEN7-26063	NSsp 13700 の SFP/QSFP ポートで、複数の速度の自動ネゴシエーションが動作しない場合があります。 応急: 手動でリンク速度を指定します。

問題番号	問題の詳細
GEN7-26089	「有効化」ボタンでシャットダウン/否シャットダウンを切り替えると、100M/10M インターフェース状況に「リンクなし」が表示されます。 応急: 「リンク速度」を「自動ネゴシエーション」または「1 Gbps 二重」に設定します。
GEN7-26093	SSL VPN を有効にする前に「DPI およびステートフル ファイアウォール セキュリティ」が適用された場合、SSL VPN が動作しません。
GEN7-26154	内部設定の「高可用性」を有効にした際に、PortShield が既定で有効化されます。
GEN7-26188	LAN バイパスの LED が期待通りに動作しません。
GEN7-26204	VPN 名に引用符を使用すると、VPN ポリシーにゲートウェイとネットワークが表示されません。
GEN7-26374	時折 10G インターフェースの高可用性で、接続されているインターフェースが接続されていないように表示されます。
GEN7-26419	NSsp 15700 の SonicOSX ウェブ管理インターフェースで、インターフェースのリンク速度を構成できません。CLI では構成できます。
GEN7-26444	SonicOS ウェブ管理インターフェースを使用している際に、外部記憶装置に保存されたログ ファイルを削除できません。
GEN7-26447	ログの記憶装置に「プライマリ記憶装置」が選択されている場合、ファイルの場所が正しくありません。
GEN7-26465	IPS シグネチャの包含または除外ユーザ グループ設定がインポートできません。
GEN7-26474	Firefox ブラウザを使用すると、「SonicOS セットアップ ガイド」の WAN IP を手動で設定できません。
GEN7-26534	WAN インターフェースの論理プローブ設定を物理監視に、およびその逆に変更できません。
GEN7-26645	NSa 4700、NSa 6700 および NSsp 13700 のユーザ設定で、ユーザ認証方式のドロップダウン フィールドの変更が保存されません。
GEN7-26710	NSa 4700、NSa 6700 および NSsp 13700 の「デバイス ユーザ > 認証パーティション」ページで、新しく追加したポリシーのパーティションが変更できません。
GEN7-26726	記憶装置のログ ファイルを 2 つ以上選択すると、ファイルを削除するための「抹消」オプションが選択できません。
GEN7-26827	NSsp 13700 で、ケーブルの長さが 3m 以上の場合、10G RJ45 インターフェース (X16 ~ X19) のリンク速度が 5 Gbps に自動ネゴシエートされます。
GEN7-26871	テクニカル サポート レポートに、2 台の記憶装置デバイスにあるファイルが表示されません。
GEN7-26888	証明書の選択設定を変更後、SonicOS ウェブ管理証明書にサブジェクトと発行者の CN の内容がありません。
GEN7-26987	X1 (WAN) から受け取った DHCP リースが、X0 リース スコープの IP アドレス範囲になります。内部予約された VLAN が SonicOS 6.5 の構成から変換またはインポートされることにより、SonicOS/X 7.0.1 の既定から変更された場合に発生します。 応急: 予約された VLAN の 開始 VLAN を、SonicOS/X 7.0.1 の既定である 3968 またはそれ以上に構成します。

問題番号	問題の詳細
GEN7-27038	NSa 4700/6700 または NSsp 13700 の新ユーザ インターフェースで、LDAP サーバー一覧に子 LDAP サーバが表示されません。 応急: 旧ユーザ インターフェースで LDAP サーバを構成します。

バージョン 7.0.1 - 2021 年 6 月

2021 年 6 月

このリリースは、以前のリリースで見つかった多くの重大な問題点とその他の問題点が修正されています。

このリリースのプラットフォーム別バージョンは、次の通りです。

プラットフォーム	ファームウェア バージョン
TZ シリーズ	7.0.1-R1456
NSa シリーズ	7.0.1-R1456
NSv シリーズ	7.0.1-R1282 / 7.0.1-R1283
NSsp シリーズ	7.0.1-R579

重要

SonicOS 7.0.1 の以前のバージョンを使用している場合は、このリリースにアップグレードすることを推奨します。

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-23005	WAN インターフェースを PPPoE モードで構成すると、すべてのインターフェースがページから消えてしまいます。
GEN7-23108	NSv をマニュアル キーセットで登録した後に、X1 を管理用として有効にできません。
GEN7-23121	テナントを新しいファームウェア バージョンにアップグレードした後、テナントがすぐに (1 ~ 2 時間) 故障状態になります。
GEN7-23389	インターフェースを「トランスパレント モード」で構成すると、ファイアウォールのドロップ ダウン リストに「DMZ アドレス グループ」の選択が表示されません。
GEN7-23481	X0 ポートが切断された際に、TZ プラットフォームのすべての予備のインターフェースで PortShield モード管理トラフィックが正しく動作しません。

問題番号	問題の詳細
GEN7-24191	HTTP ヘッダーの不適切な無効化により、認証されない DoS が発生する脆弱性があります。

追加の参考情報

参考として、このリリースで追加で修正された問題点は以下の通りです。

GEN7-18760、GEN7-19718、GEN7-20821、GEN7-21236、GEN7-22362、GEN7-22480、GEN7-22545、GEN7-23364、GEN7-23541、GEN7-23657、GEN7-23870、GEN7-23877、GEN7-23976

確認されている問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-23969	RADIUS 認証を使用するユーザが LAN ゾーンからログインできません。
GEN7-24521	NSv で、AWS VPN が VPC の詳細を表示しません。
GEN7-24608	「キャプチャ ATP 位置」ページの「キャンセル」ボタンが動作しません。
GEN7-24639	他のブリッジ メンバ間でファイアウォールを有効にした後、アクセス ルールで LAN から LAN への HTTP を遮断してもトラフィックが通過します。
GEN7-24658	TOTP (2 段階認証) の構成を変更すると、プライマリ以外のブレードが完全同期と再起動するため、一時的にアクセスに問題が生じることがあります。
GEN7-24683	セキュリティポリシーをグループ順に並べると、エクスポートした CSV ファイルにデータがありません。

バージョン 7.0.1 - 2021 年 4 月

2021 年 4 月

SonicOS 7.0.1 は、SonicWall NSa 3700 ネットワーク セキュリティ装置をサポートします。このリリースには、新機能と拡張、および、以前のリリースで見つかったさまざまな既知の問題に対する修正が含まれています。

互換性とインストールの注意事項

SonicOS 7.0.1 は、これまでの SonicOS 7.0 リリースのすべての機能と修正された問題点をサポートします。

- **ブラウザの互換性** – SonicOS の管理には、最新の Chrome、Firefox、Safari、または Edge のいずれかのブラウザを使用することを推奨します。シークレットおよびプライベート モードはサポートされません。
- **製品ライセンス** – MySonicWall アカウントが必須です。すべての機能と SonicWall のセキュリティ サービス、ファームウェア更新、およびテクニカル サポートのメリットを利用するには、MySonicWall で SonicWall ネットワークセキュリティ装置を登録する必要があります。
- **無線 WAN** – 4G/LTE 機器は、SonicWallTZ および NSa シリーズのファイアウォールでサポートされます。サポートされるデバイスの一覧を見るには、次を開きます: [Wireless-cards-and-broadband-devices-supported-on-sonicwall-firewalls-and-access-points](#)
- **クラウド管理** – ネットワークセキュリティ管理 (NSM / ネットワークセキュリティ マネージャ) 2.2 は、7.0.1 が動作しているすべての SonicWall ファイアウォールの管理をサポートします。

サポート対象プラットフォーム

SonicOS 7.0.1 は、次の SonicWall ネットワークセキュリティ装置でサポートされます。

- | | | |
|--------------|------------------|-----------|
| • NSa 2700 | • TZ270 / TZ270W | • NSv 270 |
| • NSa 3700 | • TZ370 / TZ370W | • NSv 470 |
| • NSsp 15700 | • TZ470 / TZ470W | • NSv 870 |
| | • TZ570 / TZ570W | |
| | • TZ570P | |
| | • TZ670 | |

NSv 270/470/870 の展開は、次のプラットフォームでサポートされます。

- AWS (BYOL または PAYG)
- Microsoft Azure
- VMware ESXi
- Microsoft Hyper-V
- Linux KVM

新機能

- **セーフモード認証での「認証コード」のサポート**

SonicOS 7.0.1 が動作している未登録のファイアウォールでセーフモードにアクセスする際に、装置の「認証コード」を「Maintenance Key (メンテナンス キー)」として使用できます。「認証コード」は、ウェブ管理インターフェースおよび装置の底面に貼られているラベルに表示されています。

- **スイッチの統合:**
 - SonicOS で SonicWall スwitchの**ネイティブ VLAN 構成**をサポートします
管理者は、どの VLAN が VLAN タグを持たないのかを指定できます。これは、SonicWave の事前設定に有用です。
 - スwitchの各ポートにある新しい「**ポート説明**」フィールドで、ポートのラベリングを容易にします
 - ファイアウォールごとにサポートされるスswitchの数が、従来の 4 台から **8 台**に増加しました
 - SonicWall ファイアウォールの高可用性展開用に**複数のスタンドアロン スwitch**をサポートします
- NSsp 15700 の**ルート インスタンスで SDWAN のサポート**
- VMware、Hyper-V、および KVM プラットフォームの NSv プライベートクラウド展開用に、「**ワンアーム モード**」インターフェースのサポート
「ワンアーム モード」では、トラフィックは装置の同じインターフェースに送受信されます。
- NSv 270/470/870 で **PPPoE インターフェース モードのサポート**
- KVM プラットフォーム上に展開されている NSv 270/470/870 で **SR-IOV NIC のサポート**
SR-IOV (単ルート I/O 仮想化) PCI 規格は、ハイパーバイザに搭載された物理ネットワーク インターフェースカード (NIC) へのアクセスを、仮想マシンが共有できるようにします。
- KVM プラットフォーム上の NSv 270/470/870 で、**Bootstrap 構成の自動設定のサポート**
- ポリシー モードで、NSv 7.0.0 ファームウェア バージョンから NSv 7.0.1 への**ファームウェア アップグレードのサポート**
- NSv 270/470/870 で **SonicOS 旧モードが利用可能:**
 - ファイアウォール モードを旧モードとポリシー モードに切り替えが可能です
 - ファイアウォール モードの切り替えオプションは、「ネットワーク | ファイアウォール > 詳細」ページにあります
 - MySonicWall アカウントの NSv シリアル番号に対して「ファイアウォール モード切替」オプションを有効することで、MySonicWall のこのオプションの表示を制御します
 - 旧モードとポリシー モードのファイアウォール モード選択は新しい SonicOS 7.0.1 NSv の展開用です
 - 旧モードの新規 NSv 7.0.1 展開で、NSv 6.5.4.v インスタンスからの設定インポートをサポートします

修正された問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-9974	TZ シリーズ プラットフォームで、管理者がゲスト アカウントの「アカウント失効日」オプションを元の構成で使用した時間増分の単位 (日、時、または分) から別の単位に変更できません。
GEN7-10226	クライアント DPI-SSL が有効な状態で、SSL クライアントが TLS1.3 対応のウェブサイト (Facebook など) への接続に ECDHE-ECDSA 暗号スイートを使用すると、接続が確立されません。

問題番号	問題の詳細
GEN7-10783	NSv および TZ ファイアウォールで構成設定ファイルをインポートすると、「監査ログ」の情報が不正または損失します。
GEN7-12366	NSv および TZ ファイアウォールで、禁止アクセス ルールの除外ユーザ設定が動作しません。
GEN7-13697	VPN を越えた DHCP を使用した VLAN インターフェースで、未定義の状態にある VLAN インターフェースにバインドされた場合、ピアがパケットを復号できません。
GEN7-15097	割合基準の WAN 負荷分散が期待通りに動作しません。ユーザ定義の割合基準 WAN 負荷分散のトラフィックフローが、既存および以前のトラフィックフローによって失敗します。
GEN7-15344	NSsp 15700 でルーティング ルールとプローブドロップダウン リストにネットワーク監視オブジェクトが表示されません。
GEN7-15352	NSsp 15700 でシングル サインオンを使用すると、SSO エージェントを追加する際にパーティション選択オプションが使用できません。
GEN7-15601	SSO エージェントでシングル サインオンを切り替えると、RADIUS アカウント パケットがファイアウォール ルールによって常に破棄されます。これにより、SSO エージェントの接続が試行と失敗を繰り返します。
GEN7-15646	NSv シリーズ プラットフォームで、SSH ポートが非標準のポートを使用するように構成されていると、ファイアウォールの SSH 管理に失敗します。
GEN7-15672	NSv シリーズのプラットフォームで、DoS ポリシーで使用されている DoS 動作プロファイルを削除すると、ウェブ管理インターフェースが停止します。
GEN7-16351	NSsp 15700 で認証パーティションを有効にしても、LDAP サーバにパーティション設定がありません。LDAP サーバを追加または編集する際に、パーティションのフィールドまたは設定が存在しません。
GEN7-16659	今までシリアル番号が登録されていない NSv シリーズ プラットフォームで NSv のシリアル番号を登録した後、SonicOS/X ウェブ管理インターフェースと管理コンソールに製品コードとモデル名が表示されません。シリアル番号が誰かに登録されている場合(たとえシリアル番号が登録解除されていたとしても)、この問題は発生しません。登録後に NSv を再起動すると、この問題は解決します。
GEN7-16824	TZ シリーズ プラットフォームで、多くの IPS シグネチャの種別設定に対する防御および検知の既定の設定に一貫性がありません。
GEN7-17413	NSsp 15700 高可用性ペアで、「MAC アドレスを上書きする」が有効化されているアクティブ ファイアウォールの仮想 MAC が無効化されている場合、スタンバイファイアウォールのウェブとコンソールが応答しません。
GEN7-17546	NSsp 15700 で、VPN トンネルを介した FTP を使用すると FTP パケットが破棄されます。
GEN7-17566	TZ 470 でファームウェアをアップグレードした後に、X8 と X9 インターフェースが「リンクなし」で表示されダウンしています。
GEN7-17664	クライアント DPI-SSL を有効にすると、再署名証明書の変更がファイアウォールを再起動するまで反映されません。

問題番号	問題の詳細
GEN7-17929	SonicOS 7.0 でアクセス ルールを編集する際に、帯域幅管理プロファイルが既定で無効に設定されており、ルールを始めて適用しようとするとエラー メッセージ「プロパティ 'bandwidth_management' は空のオブジェクトにできません」が表示されます。
GEN7-18021	「ステートフル同期を有効にする」が選択されている高可用性ペアで、「ツール & 監視 > アクティブ接続」ページを開くと、エラー ポップアップ メッセージ「高可用性アイドル」が表示されます。
GEN7-18025	どのインターフェースにも使用されていないユーザ定義ゾーンを削除しようとすると、エラー メッセージ「オブジェクトは、アクセス ルールで使用済みです」が表示されます。
GEN7-18035	NSa 2700 で、インターフェース X18 を SonicWall スイッチに 10 GB SFP+ モジュールを使用して接続すると、リンクが確立しません。
GEN7-18097	Windows server 2019 に展開された Hyper-V 用 NSv の管理コンソールで、「工場出荷状態」をクリックすると NSv が正常に起動しません。
GEN7-18381	「ネットワーク DNS > 設定」ページで「手動で DNS サーバを指定する」の IPv6 オプションを構成しても、DNS 設定が保存されません。
GEN7-18457	シングル サインオン ユーザ セッション数が 40,000 を超える NSa 2700 で「デバイス ユーザ > 状況」ページに移動すると、約 3 分後にウェブ管理インターフェースが停止します。
GEN7-18553	NSa 2700 でネイティブブリッジモードのインターフェースを LAN インターフェースに移動すると、セグメンテーション違反が発生します。
GEN7-18562	「リンク統合」が構成された TZ 670 で、静的 LAG の「親インターフェース」をシャットダウンすると、通信が失敗します。
GEN7-18651	ファイアウォールの X0 インターフェースに対して PortShield された複数のスイッチとアクティブなクライアント接続を伴う NSa 2700 で、ファイアウォールを再起動後にトラフィックフローが再開しません。
GEN7-18654	複数のスイッチが接続された NSa 2700 でスイッチを削除しようとすると、ファイアウォールがダウンすることがあります。
GEN7-18734	DHCP モードの X1 に IP アドレスがない状態でバックアップした構成を使用してファイアウォールを再起動すると、構成がインポートできません。再起動の試行に失敗します。
GEN7-18775	NSa 2700 高可用性ペアのアクティブ ファイアウォールを「先制」モードを切り替えると、スタンバイ ファイアウォールが再起動します。
GEN7-18927	NSa 2700 で、MGMT ポートに対する既定の管理 IP アドレスが変更できません。エラー メッセージ「コマンド 'no one arm mode' が一致しません」が表示されます。
GEN7-18958	NSa 2700 の旧ナビゲーション表示に「PortShield グループ」ページがありません。
GEN7-19039	SonicWall スイッチが接続されたファイアウォールで、構成設定をエクスポートした後に工場出荷状態で再起動し、保存された設定ファイルをインポートすると、設定は正常にインポートされますが、しばらくするとエラー ポップアップ「ネットワーク エラー」が表示されます。
GEN7-19255	NSsp 15700 で、同じ NSsp からエクスポートした構成設定をインポートした後、ログインに失敗します。

問題番号	問題の詳細
GEN7-19741	NSa 3700 が複数回再起動し、ポート X28 と X29 のトラフィック インターフェース ポートが「リンクなし」の状態にダウンします。
GEN7-19767	Azure 用 NSv のアクティブ/スタンバイ高可用性展開で、ファームウェアをアップグレードできません。
GEN7-19886	NSv シリーズ で、エラー「スキーマ検証エラー: 不明なプロパティ 'pppoe' です」によって、PPPoE モードの WAN インターフェースが構成できません。
GEN7-19970	NSv AWS PAYG (従量制料金) インスタンスで、MySonicWall に割り当てられる前に動作プロファイルでアンチ ウイルスを有効にした NSv AWS インスタンスが、LAN から WAN へのトラフィックがそれぞれの LAN から WAN セキュリティ ポリシーと一致させることができません。
GEN7-20062	NSv AWS PAYG インスタンスが登録されていない場合、「キャプチャ脅威評価」レポートの生成に誤ったエラー メッセージが表示され、レポートの生成に失敗します。
GEN7-20280	NSa 2700 で電源ボタンを短く押した後、システムをシャットダウンするために電源ボタンを長く押しても動作しません。短く押すのは 5 秒以下で、長く押すのは 5 秒以上必要です。
GEN7-20315	40,000 件のシングル サインオン ユーザを伴う NSa 2700 で、「ユーザ > 状況 > 個数の表示」をクリックすると、未知のエラーが発生します。
GEN7-20316	40,000 件のシングル サインオン ユーザを伴う NSa 2700 で、アクセス ルールを変更しようとする、「エラー: 不明なプロパティ 'block_traffic_for_single_sign_on' です」が表示されます。
GEN7-20673	「フェイルオーバーと負荷分散」の一部として既にインターフェースの「Default LB Group IPv6」が誤って構成されており、いくつかの設定が構成可能な状態になっています。
GEN7-20752	スタンバイ/ピアで、誤ったシリアル番号が一度でも指定された場合、高可用性が構成できません。
GEN7-21397	NSsp 15700 で、SMB を使用して転送されたファイルが「キャプチャ ATP」へ分析のために送信されません。
GEN7-21398	NSsp 15700 で、.zip 圧縮種別のファイルが「キャプチャ ATP」へ分析のために送信されません。
GEN7-21486	NSsp 15700 で「拡張セキュリティ」を有効にすると、どのファイルも「キャプチャ ATP」へ分析のために送信されません。
GEN7-21582	NSsp 15700 で「判定されるまで遮断する」を有効にしても、DPI-SSL を有効にした HTTP/HTTPS でダウンロードされた悪意のあるファイルを遮断しません。
GEN7-21741	SonicOS (ポリシー モード) が、5 タプルの複数のセキュリティ (ULA) ポリシーが異なる (ただし一部重複する) ポジティブ一致許可動作のウェブ種別に一致する実際によくある事例を、適用されたグループの単一または複数の種別で格付けされた非参照種別のウェブサイトがそれが適用されるまでサポートしません。
GEN7-21799	NSa 2700/3700 ファイアウォールでジャンボ フレームが有効化され、インターフェースの MTU が 9000 に設定されている場合、1516 バイトを超えるパケット長を受信できません。

追加の参考情報

参考として、このリリースで追加で修正された問題点は以下の通りです。

GEN7-14373、GEN7-15097、GEN7-18103、GEN7-18280、GEN7-18494、GEN7-18585、GEN7-18591、GEN7-18634、GEN7-18666、GEN7-18730、GEN7-18760、GEN7-19009、GEN7-19086、GEN7-19355、GEN7-19384、GEN7-19404、GEN7-19459、GEN7-19460、GEN7-19529、GEN7-19537、GEN7-19546、GEN7-19559、GEN7-19593、GEN7-19606、GEN7-19612、GEN7-19619、GEN7-19649、GEN7-19650、GEN7-19659、GEN7-19721、GEN7-19777、GEN7-19820、GEN7-19830、GEN7-19974、GEN7-20038、GEN7-20050、GEN7-20110、GEN7-20124、GEN7-20204、GEN7-20246、GEN7-20247、GEN7-20366、GEN7-20411、GEN7-20414、GEN7-20510、GEN7-20517、GEN7-20544、GEN7-20601、GEN7-20699、GEN7-20708、GEN7-20766、GEN7-20821、GEN7-20856、GEN7-20866、GEN7-21036、GEN7-21047、GEN7-21069、GEN7-21082、GEN7-21094、GEN7-21225、GEN7-21234、GEN7-21235、GEN7-21236、GEN7-21310、GEN7-21320、GEN7-21321、GEN7-21323、GEN7-21357、GEN7-21358、GEN7-21360、GEN7-21363、GEN7-21393、GEN7-21400、GEN7-21438、GEN7-21445、GEN7-21464、GEN7-21490、GEN7-21493、GEN7-21555、GEN7-21556、GEN7-21558、GEN7-21592、GEN7-21728、GEN7-21742、GEN7-21771、GEN7-21773、GEN7-21774、GEN7-21880、GEN7-21917、GEN7-22007、GEN7-22055、GEN7-22084、GEN7-22151、GEN7-22194、GEN7-22236、GEN7-22277、GEN7-22353、GEN7-22358、GEN7-22391、GEN7-22423、GEN7-22443、GEN7-22600、GEN7-22652、GEN7-22775、GEN7-22787、GEN7-23040

確認されている問題点

問題番号	問題の詳細
GEN7-16351	NSsp で認証パーティションを有効にしても、LDAP サーバの追加または削除時にパーティション フィールドと設定が表示されません。
GEN7-19930	SonicOS 6.5.4.7 が動作する NSa 2600 からエクスポートされた構成設定を NSa 2700 にインポートすると、高可用性設定が失われます。ただし、他の設定は保持されます。
GEN7-21228	番号なしトンネル VPN で「IP ヘルパー」を使用している特定の展開で、クライアント PC が DHCP IP アドレスを取得できません。FW1 が DHCP サーバ、FW2 の「IP ヘルパー」が有効、かつクライアント PC が FW1 に接続されている 2 台のファイアウォール間の番号なしトンネル VPN が確立した際に発生します。
GEN7-21977	NSa 3700 で Dell X シリーズ スイッチの追加、削除、構成、管理が期待通り動作せず、エラー メッセージ「エラー: 拡張スイッチ インスタンスのインデックス」が表示されます。
GEN7-22151	SonicOSX ウェブ管理の最中に、エラー「Failed to open cache db (キャッシュ データベースを開くことに失敗しました)」がブラウザに表示される場合があります。SonicOSX ウェブ管理が、Firefox、Chrome および Edge などのブラウザのプライベートまたはシークレットモードをサポートしないために発生します。 応急: ブラウザの通常モードを使用してファイアウォールを管理します。
GEN7-22269	非構成または読み取り専用モードでファイアウォールにアクセスし、「ユーザ > ローカルユーザとグループ > 設定」ページなどでチェック ボックスのオプションを有効化または無効化しようとした際に、エラー「不明な理由」が表示されます。より詳細なエラーメッセージが表示されるべきです。

問題番号	問題の詳細
GEN7-22706	デジジーチェーンによる複数層のスイッチを展開した場合、3層目のスイッチを検出するまでに5分以上かかります。ファイアウォールに既にデジジーチェーンで接続されているスイッチにスイッチを接続した後に発生します。
GEN7-22772	親スイッチのVLANが、複数層のデジジーチェーンの子スイッチに正しく構成されません。
GEN7-22807	SSL VPNサーバが有効化されているファイアウォールに接続しようとする、クライアントが「タイムアウト」ログメッセージを伴って頻繁に接続が失敗します。
GEN7-22950	マニュアルライセンスキーセット方式を使用してファイアウォールを登録し、ライセンスキーセットを入力した場合、「ポリシー セキュリティサービス > サマリ」ページの「シグネチャの手動更新」を確認すると、セキュリティサービスに誤った「シグネチャファイルID (SFID)」が表示されます。
GEN7-22972	X0 インターフェースのSSH管理を無効にして再度有効にした後、SSHターミナルを使用するとLAN PCがSSHセッションに接続できません。
GEN7-23108	NSvをマニュアルキーセットで登録した後に、X1を管理用として有効にできません。
GEN7-23121	NSspでファイアウォールをアップグレードした直後に、インスタンスの動作が停止する場合があります。複数のLDAPサーバを伴ってLDAPを有効にした際に、LDAP紹介関連の問題によって発生します。 応急: SonicOSのLDAP紹介を無効にします。
GEN7-23131	「ステートフル高可用性」展開でコンテンツフィルタサービスのユーザ定義種別を追加、編集、削除した後に、スタンバイ装置の動作が停止する場合があります。
GEN7-23165	NSvで、WANからWANへの「HTTPS管理アクセス」の着信を「禁止」するアクセスルールが、トラフィックを遮断しない場合があります。
GEN7-23211	NSvで、「ゾーン」がWANで「モード / IP割り当て」がPPPoEのインターフェースを編集する際に、「プロトコル」タブ/画面が利用できません。

SonicWall サポート

有効なメンテナンス契約が付属する SonicWall 製品をご購入になったお客様は、テクニカル サポートを利用できます。

[サポート ポータル](#)には、問題を自主的にすばやく解決するために使用できるセルフヘルプ ツールがあり、24 時間 365 日ご利用いただけます。

[サポート ポータル](#)では、次のことができます。

- [ナレッジベースの記事](#)や[技術文書](#)を閲覧する。
- [コミュニティフォーラム](#)のディスカッションを閲覧し参加する。
- [ビデオ チュートリアル](#)を視聴する。
- [MySonicWall](#) にアクセスする。
- [SonicWall プロフェッショナル サービス](#)に関する情報を得る。
- [SonicWall サポート サービスおよび保証に関する情報](#)を確認する。
- [SonicWall University](#) に登録して、トレーニングと技術認定を得る。

このドキュメントについて

- ① | **メモ:** メモアイコンは、補足情報があることを示しています。
- ① | **重要:** 重要アイコンは、補足情報があることを示しています。
- ① | **ヒント:** ヒントアイコンは、参考になる情報があることを示しています。
- △ | **注意:** 注意アイコンは、手順に従わないとハードウェアの破損やデータの消失が生じる恐れがあることを示しています。
- △ | **警告:** 警告アイコンは、物的損害、人身傷害、または死亡事故につながるおそれがあることを示します。

SonicOS リリース ノート
更新日 - 2024 年 3 月
ソフトウェア バージョン - 7.0
232-005683-00 Rev ZE

Copyright © 2024 SonicWall Inc. All rights reserved.

本文書の情報は SonicWall およびその関連会社の製品に関して提供されています。明示的または暗示的、禁反言にかかわらず、知的財産権に対するいかなるライセンスも、本文書または製品の販売に関して付与されないものとします。本製品のライセンス契約で定義される契約条件で明示的に規定される場合を除き、SONICWALL および/またはその関連会社は一切の責任を負わず、商品性、特定目的への適合性、あるいは権利を侵害しないことの暗示的な保証を含む(ただしこれに限定されない)、製品に関する明示的、暗示的、または法定的な責任を放棄します。いかなる場合においても、SONICWALL および/またはその関連会社が事前にこのような損害の可能性を認識していた場合でも、SONICWALL および/またはその関連会社は、本文書の使用または使用できないことから生じる、直接的、間接的、結果的、懲罰的、特殊な、または付随的な損害(利益の損失、事業の中断、または情報の損失を含むが、これに限定されない)について一切の責任を負わないものとします。SonicWall および/またはその関連会社は、本書の内容に関する正確性または完全性についていかなる表明または保証も行いません。また、事前の通知なく、いつでも仕様および製品説明を変更する権利を留保し、本書に記載されている情報を更新する義務を負わないものとします。

詳細については、<https://www.sonicwall.com/ja-jp/legal> を参照してください。